

令和5年度

上田市社会福祉協議会事業報告

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

社会福祉法人 上田市社会福祉協議会



- 目次 -

上田市社会福祉協議会の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2  
 令和5年度 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4

No.	事業名	ページ
1	組織図	5
2	職員構成	6
3	法人運営	7～13
4	善意銀行	13～15
5	企画・広報	16
6	希望の旅事業	17
7	上田市ファミリー・サポート・センター事業	17～18
8	福祉推進事業	18～21
9	点字・声の広報発行事業	21～22
10	日常生活自立支援事業	22～23
11	地域ふれあい事業	23～24
12	上小圏域成年後見支援センター事業	24～26
13	上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業	26～27
14	有償在宅福祉サービス事業	27～29
15	心配ごと相談事業	29～30
16	結婚相談事業	30
17	たすけあい資金貸付事業	31～32
18	ボランティア地域活動センター事業	32～33
19	地域子育て支援拠点事業	34
20	上田市高齢者福祉センター管理事業	35～36
21	上田市丸子老人福祉センター設置管理事業	36
22	上田市真田老人福祉センター管理事業	37
23	真田ふれあいバス運行事業	37～38
24	上田市ふれあい福祉センター管理事業	38
25	上田市真田総合福祉センター管理事業	38～39
26	上市長瀬市民センター管理事業	39
27	共同募金配分金事業	40～45
28	地域包括支援センター事業	45～49
29	通所介護事業	49～51
30	居宅介護支援事業	51～52
31	児童館・児童センター事業	52～54
32	その他の事業	54～59

## 上田市社会福祉協議会の概況

- 1 名 称 社会福祉法人 上田市社会福祉協議会
- 2 事務所の所在地 上田中央三丁目5番1号（上田市ふれあい福祉センター内）
- 3 設立年月日 平成18年10月1日

### 4 目 的

上田市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とする。

### 5 組織・運営

全市民を世帯単位に会員として16地区241支部社協を構成し、自治会長・民生委員・児童委員・福祉推進委員・社会福祉事業関係者・行政機関などを構成メンバーとし、組織されている。会員制により地域の住民、自治会、社会福祉関係者などの参加・協力を得て活動している。

### 6 所轄官庁 厚生労働省

### 7 役員

#### (1) 理事・監事・顧問

役職名	氏 名	選 出 区 分	備 考
会 長	宮之上 孝司	学識経験を有する者	
副会長	中村 彰	地域の代表者	上田市自治会連合会長
副会長	古川 友枝	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会長
副会長	母袋 元	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会副会長
常務理事	中村 栄孝	学識経験を有する者	
理 事	小平 六左エ門	地域の代表者	上田市自治会連合会副会長
	小林 泉		令和5年6月23日から交代
理 事	宮島 幸男	地域の代表者	上田市自治会連合会副会長
	中村 守		令和5年6月23日から交代
理 事	松久 宏明	地域の代表者	上田市自治会連合会
	橋詰 秀行		令和5年6月23日から交代
理 事	小市 正輝	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会副会長
理 事	聲山 孝道	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会副会長
理 事	佐藤 永寿子	社会福祉事業を営む団体の役職員	上小圏域障害者自立支援協議会
理 事	上原 より子	ボランティア活動を行う団体の代表者	上田ボランティア連絡協議会長
理 事	堀内 由紀夫	関係行政機関の職員	上田市福祉部長
	北島 大志		令和5年5月17日から交代
理 事	成沢 功	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市社会福祉協議会 福祉推進委員連絡協議会長
理 事	齋藤 陽子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市赤十字奉仕団委員長
	原 幸子		令和5年6月23日から交代
監 事	小池 晃雄	財務諸表等を監査し得る者	

監 事	中澤 照夫	社会福祉事業について学識を有する者	
顧 問	丸山 正明	前上田市社会福祉協議会会長	

(2) 評議員

氏 名	選 出 区 分	備 考
橋本 至永	学識経験を有する者	上田市医師会
金子 義幸	学識経験を有する者	上田商工会議所
鈴木 忠義	学識経験を有する者	長野大学
石川 武	学識経験を有する者	上田市校長会
堀内 絹予		令和5年6月27日から交代
干場 文孝	学識経験を有する者	上田青年会議所
野村 康太		令和5年6月27日から交代
竹田 裕美	学識経験を有する者	上田市子ども会育成連絡協議会
竹内 茂	学識経験を有する者	上田市多文化共生推進協会
小熊 充	地域の代表者	上田市自治会連合会
大井 和彦		令和5年6月27日から交代
樋口 博	地域の代表者	上田市自治会連合会
宮島 淳		令和5年6月27日から交代
荒川 光広	地域の代表者	長野県弁護士会上田在住会
永井 静江	地域の代表者	上小東御地域女性団体連絡協議会
丸山 美奈子	地域の代表者	上小東御地域女性団体連絡協議会
山邊 幸男	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会
池田 弘子	地域の福祉関係者	上田市民生委員・児童委員協議会
花見 聡	社会福祉事業を経営する団体の役職員	上小地区障がい児者施設連絡協議会
三井 千愛		令和5年6月27日から交代
中村 聖美	社会福祉事業を経営する団体の役職員	介護保険指定居宅介護支援事業者連絡協議会
大日向 悟	ボランティア活動を行う団体の代表者	武石ボランティア連絡協議会
小平 八重子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市社会福祉協議会 福祉推進委員連絡協議会
武田 忠一	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市高齢者クラブ連合会
滝沢 清茂		令和5年6月27日から交代
吾妻 博夫	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	NPO 法人上田市身体障害者福祉協会
久保田 美知子	社会福祉事業に熱意と理解を有する者	上田市丸子地区赤十字奉仕団
中山 光次		令和5年6月27日から交代

## 令和5年度 総括

近年では、急激な物価高騰による生活困窮や社会的孤立など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、家族関係や地域のつながりが希薄になっています。

上田市社会福祉協議会では、内閣官房が令和4年2月に設置した「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」に登録し、孤独・孤立の問題解消に向け、多様な支援組織間の連携及び官民の連携を促進する新たな取組に協力しました。

社会の変化を踏まえ、「あったかい 心あふれる 協働のまち」を行動指針に「笑顔 花咲く 上田市社協」を目指し、住民の皆様が誰もが安心して暮らせる社会に向け、事業を実施してまいりました。

### ○ 令和5年度重点施策の実施状況

#### 1 住民参加と協働による地域福祉活動

地区社協住民会議では、防災や子どもに関する内容など、身近に感じるテーマの下、地域ごと工夫を凝らした取組が行われました。

また、住民支え合いマップでは、近年の災害増加に伴う、意識の高まりから、更新作業や新規の取組増加が見られました。更に、災害時だけではなく、日ごろの見守りや声かけなどの相乗効果も出ています。

#### 2 生活困窮者への重層的な支援

新型コロナウイルス感染拡大に伴う特例貸付において、所得の減少等が続き、償還が厳しい状況の方や、更なる貸付けを希望する方への相談支援を行いました。

フードドライブ事業により、生活に困っている世帯等への支援を行いました。

また、自治会等へ出向き、配布会を実施しました。

#### 3 資源の有効活用による持続可能な地域づくりの推進

自治会や地区社協単位によるフードドライブの取組が広がっています。

また、社協だけではなく、行政や他団体、個人ボランティアと連携しながら開催することも定着してきました。

ひとり親世帯への支援として、企業から寄附いただいた日用品や消費期限前のパンをお渡しする事業なども定着してきました。

子ども服のリユース事業「ふくふくひろば」については、児童館・児童センターに子ども服の受付箱を設置しました。他団体が行うリユース事業への参加や、医療機関にちらしを配布し、事業周知につなげました。

#### 4 ボランティア地域活動センターの充実とボランティア育成の推進

令和5年度は、災害救援ボランティア養成講座等を開催し、災害発生時における正しい知識の再確認と、災害救援ボランティアの育成に努めました。

福祉教育の推進としては、障がい者・高齢者への理解を深めることを目的に、ボッチャ、モルックなどのユニバーサルスポーツ体験や、高齢者疑似体験などを、小・中学校や高等学校に出向き実施しました。

#### 5 介護保険事業の経営改善と包括的な支援

居宅支援事業では、利用者の個別ニーズに対し、地域包括支援センターなどと連携を図ることで、介護保険サービスの提供に加えて、他のサービスを紹介するなど、包括的な支援が行えるよう努めました。

デイサービスセンター事業では、引き続き感染対策に配慮して利用者が安心できる環境を

整え、ボランティアの受入れも再開しながらレクリエーションなどにより、楽しい雰囲気でご過ごせるよう取り組みました。また、経営安定に向けた各種の加算取得を目指した体制整備を図りました。

必要な職員研修を実施し、人材育成にも努めました。継続して実施している利用者及び家族へのアンケートでは、おおむね良い評価をいただいております、更なるサービスの向上に努めています。

## 6 地域で安心して生活できる子育て支援事業の推進

児童館・児童センターは、児童の放課後等の居場所としての必要性が高まり、児童の登録者数も増加傾向にあります。引き続き、感染対策を行い、保護者の理解と協力を得ながら、安全を確保し開館しました。

子育てひろばでは、親子が安心して利用できるよう講座開催等きっかけづくりを行い、さまざまなつながりが広がる親子の居場所となるよう取り組みました。

また、上田市ファミリー・サポート・センターでは、日常的な子育ての支援を行うだけでなく、出張登録や交流会、講習会を開催し、地域や家庭で安心して子育てができるよう支援を行いました。

## 7 社協運営の基盤強化

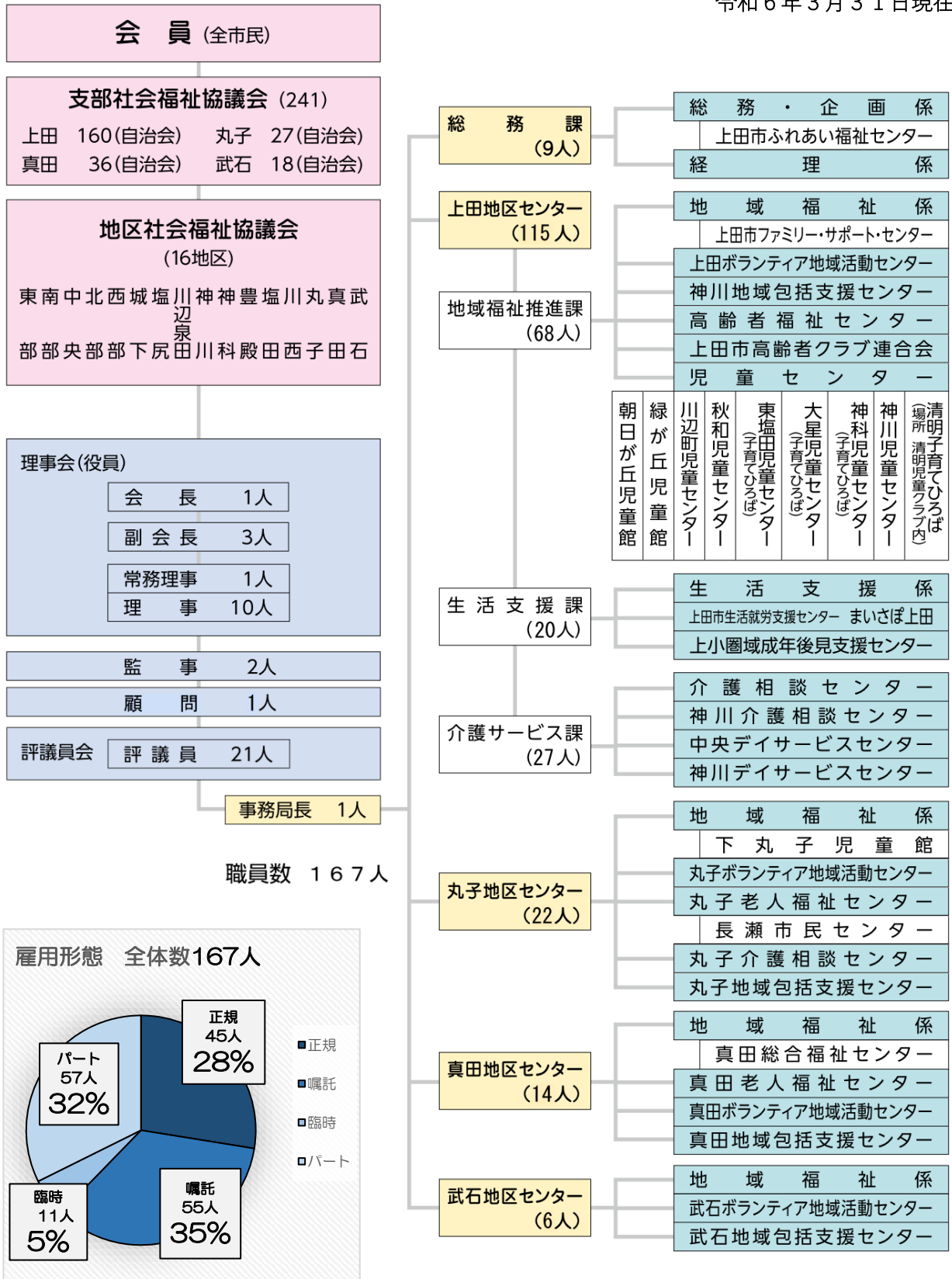
職員研修計画に基づき各種研修会を実施し、メンタルヘルス、ハラスメント等について学びました。実施に際してはオンラインを併用して行い、多くの職員が参加することができました。

個人情報の保護に関する法律の改正に対応するため、職員研修の実施のほか、ガバナンス強化を図るために規程の整備を行いました。

# 1 組織図

## 上田市社会福祉協議会組織図

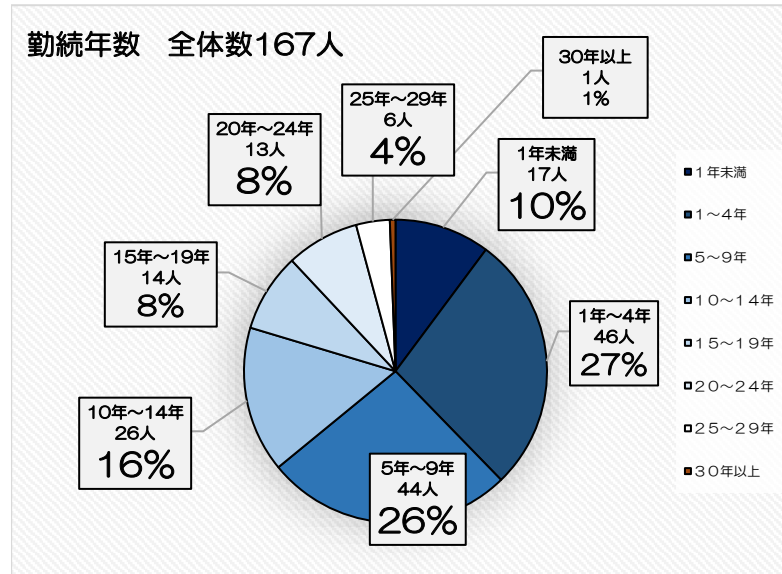
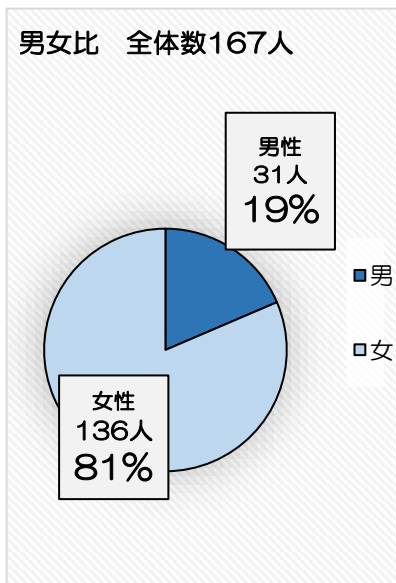
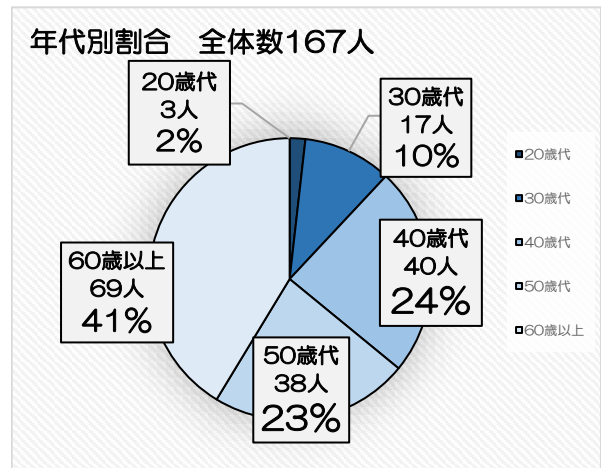
令和6年3月31日現在



## 2 職員構成 (令和6年3月31日現在)

平均年齢(単位：歳)

	平均年齢
全職員	54.7
正規職員	44.7
非正規職員	59.1



有資格者数

(単位：人)

資格種類	人数
社会福祉士	40
精神保健福祉士	12
介護福祉士	34
主任介護支援専門員・介護支援専門員	39
保健師・看護師	7
保育士	35
幼稚園教諭	32
小学校、中学校、高等学校教諭	24



### 3 法人運営

【令和5年度事業費】 178,348千円

#### 法人運営

事業実績		
(1) 理事会・評議員会		
理事会	第79回理事会 令和5年6月7日(水)	【議案内容】 ・令和4年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦について ・選出団体の役員改選に伴う評議員候補者の推薦について ・第48回評議員会の開催について
	第80回理事会 令和5年6月28日(水)	【議案内容】 ・正副会長及び常務理事の選任について ・顧問の委嘱について
	第81回理事会 令和5年10月4日(水)	【議案内容】 ・職員就業規則の一部変更について ・職員懲罰委員会規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について
	第82回理事会 令和6年3月15日(金)	【議案内容】 ・令和5年度社会福祉事業第2次補正予算(案)について ・令和6年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について ・役員等賠償責任保険契約について ・第49回評議員会の開催について
評議員会	第48回評議員会 令和5年6月23日(金)	【議案内容】 ・令和4年度事業報告及び社会福祉事業決算について ・任期満了に伴う理事・監事の選任について
	第49回評議員会 令和6年3月27日(水)	【議案内容】 ・令和5年度社会福祉事業第2次補正予算(案)について ・令和6年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について
(2) 会長業務執行状況		
月	日	内 容
4月	3日	辞令交付式
	5日	結婚相談員委嘱書交付式 第264回課長会議(オンライン会議)
	11日	日常生活自立支援事業支援員委嘱書伝達式
	12日	広報委員委嘱書交付式
	13日	上田市高齢者学園入学式
	17日	上田市民生委員・児童委員協議会役員会
	19日	西部地区社会福祉協議会総会
	21日	上田市子ども会育成連絡協議会総会
	22日	令和5年度小河滋次郎博士顕彰会定期総会
	25日	東部地区社会福祉協議会総会
	27日	丸子地域高齢者クラブ連合会総会

4月	27日	南部地区社会福祉協議会総会
5月	9日	武石地区社会福祉協議会総会
	10日	第265回課長会議
	16日	地区社協会長会
	17日	令和5年度長野県シニア大学上小学部入学式
	20日	上田市庁舎グランドオープン式典
	21日	神科地区社会福祉協議会総会
	22日	上田市民生委員・児童委員協議会総会
	23日	丸子地区社会福祉協議会総会 社会福祉法人別所清明会長寿園監査
	24日	令和5年度上田市肢体不自由児者父母の会総会
	25日	令和4年度上田市社会福祉協議会事業監査
	26日	真田地区社会福祉協議会総会
	28日	北部地区まちづくり協議会定期総会
6月	1日	第61回正副会長会 福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	2日	令和5年度上田地域福寿クラブ連合会第39回定期大会
	4日	上田市身体障害者福祉協会総会
	5日	社会福祉法人別所清明会長寿園理事会
	6日	上田地区共同募金委員会運営委員会
	7日	第79回理事会 第266回課長会議
	10日	日本地域福祉学会第37回大会（長野大会）
	11日	支え合いを広げる地域づくりシンポジウム
	14日	川辺・泉田地区社会福祉協議会総会
	15日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	16日	不当要求防止責任者講習
	17日	信州国際音楽村開村36周年記念「信州ルネッサンス2023」
	23日	第48回評議員会
	24日	いきいきフェスティバル2023
	26日	長野県社会福祉協議会第147回評議員会（オンライン会議）
	27日	上田市共同募金委員会運営委員会 社会福祉法人別所清明会長寿園評議員会
	28日	第80回理事会 上田市安全会議理事及び幹事合同会議
7月	5日	福祉推進委員全体研修会
	6日	「小さな親切」運動上田支部定期総会
	10日	第267回課長会議
	14日	苦情解決第三者委員会
8月	2日	上田市安全会議総会及び講演会

8月	9日	第268回課長会議
	23日	上田市社会福祉大会表彰審査委員会
	24日	第2回上田市人権尊重のまちづくり審議会
9月	9日	2023 信州ねんりんピック文化・芸術交流大会式典
	10日	神科地区社会福祉協議会住民会議
	11日	第269回課長会議 神川デイサービスセンター敬老会
	14日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	25日	第3回上田市人権尊重のまちづくり審議会
	28日	第62回正副会長会
10月	3日	第270回課長会議
	4日	第81回理事会
	12日	寄附受領式（美し信州建設株式会社） 第18回人権を考える市民のつどい
	15日	神川地区社会福祉協議会住民会議
	16日	寄附受領式（上田西高等学校 JRC 部）
	23日	第17回上田市社会福祉大会 西部地区社会福祉協議会住民会議
	25日	南部地区社会福祉協議会住民会議
	27日	社協職員永年勤続表彰
11月	1日	辞令交付
	3日	第40回砥石米山城まつり
	5日	第41回上田真田まつり
	6日	丸子地区社会福祉協議会住民会議
	8日	第271回課長会議 川西地区社会福祉協議会住民会議
	9日	上田市自治会連合会役員との懇談会 塩田地区住民福祉大会
	11日	原峠保養園80周年記念式典 武石地区社会福祉協議会住民会議
	15日	令和5年度上田市戦没者追悼式 第66回上田市戦没者遺族大会
	16日	令和5年度上田市功労者表彰式 塩尻地区社会福祉協議会住民会議
	17日	城下地区社会福祉協議会住民会議
	18日	真田地区社会福祉協議会住民会議 豊殿地区社会福祉協議会住民会議
	20日	上田市特別職報酬等審議会
	21日	東部地区社会福祉協議会住民会議
	23日	北部地区社会福祉協議会住民会議

11月	24日	中央地区社会福祉協議会住民会議
12月	1日	令和5年度中間決算報告会
	5日	寄附受領式（長野県理容生活衛生同業組合上小支部）
	6日	高齢者文化祭
	7日	寄附受領式（長野県軽自動車協会上田支部）
	8日	寄附受領式（「小さな親切」運動上田支部）
	11日	第272回課長会議
	12日	福祉推進委員連絡協議会地区会長会
	13日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	22日	寄附受領式（信州うえだ農協共同組合）
	27日	寄附受領式（生島足島神社）
1月	4日	仕事始めの式 新年あいさつ回り
	10日	上田商工会議所新春賀詞交換会
	13日	上田青年会議所新年懇親会
	15日	上田地区保護司会新年懇親会
	16日	上田市理事者と上田市社協役員との懇談会 第273回課長会議
	19日	上田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会
	25日	寄附受領式（上田西ロータリークラブ） 寄附受領式（ガールスカウト長野県第5団・第25団）
2月	5日	寄附受領式（株式会社幸和建設）
	6日	地域福祉推進フォーラム
	7日	令和5年度長野県シニア大学上小学部卒業式
	9日	寄附受領式（上田地域高校生徒会）
	14日	第274回課長会議
	16日	第1回福祉推進委員制度のあり方検討専門委員会
3月	4日	第275回課長会議 寄附受領式（長野県上田千曲高等学校同窓会）
	5日	上小ブロック社会福祉協議会役員研修
	8日	第63回正副会長会
	9日	真田福祉推進委員・福祉委員合同研修会 上田ライオンズクラブ結成60周年記念式典
	12日	上田市高齢者学園卒業式
	13日	信州上田医療センター地域医療諮問委員会
	15日	第82回理事会
	19日	第34回社協職員衛生委員会
	25日	長野県社会福祉協議会第148回評議員会
	27日	第49回評議員会
	29日	辞令交付式

※ その他内部用務  
事業運営指導、渉外業務、事務処理 等

- (2) 表彰審査委員会  
8月23日(水) 第17回上田市社会福祉協議会 表彰審査委員会
- (3) 苦情解決第三者委員  
7月14日(金)
- (4) 上田市社協職員衛生委員会  
12回
- (5) ブロック会議  
7月3日(月) 上小ブロック社協連絡会議 (東御市中央公民館)  
3月5日(火) 上小ブロック社協役員研修 (東御市中央公民館)
- (6) 福祉人材の育成  
社会福祉士実習生受入れ 7人 (長野大学、佐久大学、松本大学)

## 社協会費

### 【事業概要】

社協の会員会費制度は、市民一人ひとりが福祉に関心を持ち、積極的に地域の福祉活動に参加していただくことを目的としている。

会員になることが、福祉活動に参加することと同じ意味を持っており、財政面だけでなく、地域福祉を支える大きな力になる。地域福祉の主役である市民と、それを推進する社協が一体となり、福祉のまちづくりを行うために欠かせない仕組みである。

事業実績					
社協会費納入実績・推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通会費	23,463,740	23,468,351	23,614,694	23,246,102	22,932,154
特別会費	1,661,000	1,631,000	1,497,000	1,420,000	1,293,000
法人会費	2,533,000	2,311,000	2,717,560	2,520,000	2,415,000
団体会費	176,000	167,000	168,000	171,000	159,000
合計	27,833,740	27,577,351	27,997,254	27,357,102	26,799,154
評価・課題					
<p>会費の減少が見込まれことが課題となっており、更に会員会費制の理解を深める活動が必要である。令和6年度は会費区分ごとに周知を行い、ちらし等で社協事業の見える化を図り、若い世代にも情報を発信していく。</p> <p>また、市民の意見を取り入れた事業運営を行っていくために、自治会との連携を深めていく。</p>					

## 社会福祉大会

### 【事業概要】

市内の社会福祉功労者や優良団体の表彰と講演会等を開催し、市内の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進委員や福祉委員などが参加している。

事業実績	
(1) 上田市社会福祉大会 10月23日(月) (サントミュージゼ) 585人参加	
ア 内容	
(ア) 式典 … 表彰者 29人、3団体	
(イ) 口笛コンサート ～満天の星空とともに～	
口笛 柴田 晶子 氏 映像・語り 高橋 真理子 氏	
手回しオルゴール 宮本 由利子 氏 ピアノ 長尾 有紀 氏	
(2) 長野県社会福祉大会	
長野県社会福祉協議会会長表彰被表彰者(上田市のみ)	
・ボランティア団体表彰: 手話ダンスサークル マロン	
・個人ボランティア表彰: 西島 繁美 氏	
評価・課題	
式典、口笛コンサートを行った。世界一の口笛奏者の演奏に合わせ、(一社)星つむぎの村から満天の星空を届けていただいた。	
社会福祉の発展に尽力している市民や団体を広く表彰するよう対応し、地域福祉の推進につなげる講演会などを企画していく。	

## 人材育成

### 【事業概要】

職員研修計画を策定し、専門性を高めるとともに視野を広げ、スキルアップを図るための研修会への積極的な参加を進めている。

事業実績	
(1) 新規採用職員研修	9人参加
(2) 長野県内社会福祉協議会職員 実務者(中堅)研修	3人参加
(3) 長野県内社会福祉協議会職員 基礎研修	1人参加
(4) 不当要求防止責任者講習会	2回 60人参加
(5) ハラスメント防止研修会	1人参加
(6) 文書事務研修会	37人参加
(7) 個人情報保護に関する法律研修会	25人参加
(8) 経理研修会	8人参加
(9) ハラスメント研修	2回 82人参加
(10) 不審者対応研修	35人参加
(11) メンタルヘルス研修	50人参加
その他 担当業務に関する外部研修に参加については、必要に応じて参加した。	

## 評価・課題

職員研修計画に基づき計画的に研修を実施し、視野を広げるための研修、階層ごとの体系立てた研修等によりスキルアップを図った。

時代や法改正に基づいた必要とされる研修を計画的に実施していくとともに、職員が参加しやすい開催時期、開催方法など工夫していきたい。

## 出前講座

### 【事業概要】

自治会や企業、団体等からの依頼に基づき、社協職員が出向き、各種講座を無料で行っている。

## 事業実績

### 実績推移

(単位：回)

講座名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上田市社協の事業説明等	4	2	4	2	3
障がいがある人の理解と体験	0	0	0	3	3
高齢者疑似体験	0	0	0	3	2
住民支え合いマップの活用方法	2	0	2	0	3
いきいき体操	15	5	6	12	22
エンディングノートについて	4	0	1	2	4
ボッチャ・モルック体験	0	0	0	12	31
タオル犬作り	5	0	1	3	4
小物づくり	2	0	0	1	3
着ぐるみ「うさたま」の出張	2	0	0	0	1
合計	34	7	14	38	76

## 評価・課題

令和4年度の2倍に依頼件数が増加した。出前講座は、社協職員が、地域の人たちとの交流が持てる良いきっかけとなっている。

体を動かす講座を希望する依頼が多く、各講座に対応できる職員に限られているため、人員の調整が必要となる。引き続き多くの地域の人たちに利用していただくために、対応できる職員体制を整え、講座の内容を見直し充実させていく。

## 4 善意銀行

【令和5年度事業費】 2,749千円

## ふくふくひろば

### 【事業概要】

まだ使用できる子ども服を提供いただき、これから必要な子育て家庭にお譲りする子ども服のリユース事業である。

事業実績				
(1) 利用実績推移				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
寄附(点数)	4,108	7,719	8,333	8,013
持ち帰り(点数)	3,202	5,884	6,203	6,615
利用者(人)	456	732	885	1,044
(2) 週末開催 1回 持ち帰り点数 440点 53組 116人 来場				
評価・課題				
<p>3歳児検診を実施している医療機関に、ちらしを設置したことで、利用者数が増加した。利用者数・持ち帰り点数は増加しているが、寄附件数はやや減少しており、サイズによっては在庫不足となっている。引き続き周知を図っていきたい。</p>				

## 善意銀行

### 【事業概要】

市民や企業、団体から寄せられた金品を、必要とされている方や学校、施設等へ受け渡す「橋渡し」を行っている。

事業実績					
(1) 実績推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
寄附(件)	168	230	200	198	287
現金(円)	6,061,446	34,586,197	1,569,282	1,447,582	1,994,069
物品(円)	951,592	957,750	1,211,722	1,241,455	755,819
寄附合計(円)	7,013,038	35,543,947	2,781,004	2,689,037	2,749,888
(2) 主な寄附品					
<ul style="list-style-type: none"> <li>食品(お米、レトルト食品等)、衣類、紙おむつ、尿取りパット、使用済切手、はがき</li> </ul>					
評価・課題					
<p>多くの寄附の申出を受け入れることができた。生活に困っている方への寄附を、必要としている個人・団体に受け渡しをすることができた。</p> <p>また、令和6年能登半島地震災害義援金の受付も行い、随時、中央共同募金会を通して被災地へ義援金を送るとともに、長野県社会福祉協議会からの要請を受け、支援物資を募り、被災地にお届けした。</p>					

## フードドライブ事業

### 【事業概要】

食品ロスと食糧支援を結びつける活動として、家庭などにある使い切れない食品を募っている。寄附していただいた食品は地域の福祉団体や子ども食堂など、必要としている団体や個人に届けられている。



事業実績

(1) フードドライブ事業

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
提供者（延べ人数）	346	651	384
受入（品）	10,913	14,839	6,689
受入総量（kg）	8,641	8,246	3,472

(2) 食糧配布会

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配布（回）	5	3	2
参加者（延べ人数）	518	377	497

(3) フードドライブ・米・CAR

	令和4年度	令和5年度
配布（回）	2	2
参加者（延べ人数）	214	106

(4) もぐもぐサポーター（通称：もぐサポ）

フードドライブ事業で、市民から提供いただいた食品を、ひとり親世帯の方々へお渡しする事業。親子でもぐもぐ食べて、食品ロス削減サポーター（もぐサポ）に登録し、食品ロス削減に協力していただいている。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者（人）	42	133	185
払出（品）	1,772	1,651	15,869
払出総量（kg）	1,371	873	5,778

(5) パンたべよ

企業から賞味期限前の余ったパンを御寄附いただき、もぐサポ会員に届ける活動

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受入（個）	17	462	932
払出（個）	17	462	932

評価・課題

社協で行うフードドライブ事業に、個人だけでなく、自治会や地区社協単位でも協力いただいた。

また、社協だけではなく、行政や他団体、個人ボランティアと連携しながら開催することも定着してきた。

食糧の配布会を2回開催したが、会場まで食糧を取りに来るのが難しい高齢者への取組として、自治会と協力し、集会所で食糧配布（フードドライブ・米・CAR）を行った。

もぐサポ会員が増加する一方、円安や人件費高騰等による物価高のため、食糧が集まりづらく、提供できる食糧が足りない現状がある。そのため、安定的な食糧確保のため、企業等への協力も検討していきたい。

また、今後は、もぐサポや食糧配布を通して、生活に困っている方へ必要に応じ情報提供や他制度へつなげ、よりよい生活につながるような支援に努めていきたい。

## 5 企画・広報

【令和5年度事業費】 2,655千円

### 【事業概要】

社協事業や福祉推進に関する調査研究を行うとともに、福祉関係情報の収集及びその周知を行っている。

### 事業実績

- (1) 新たな事業の企画に向けた調査・研究  
自治会からの要望や、市民からの意見をもとに、社協の特性を活かした出前講座の内容の検討や新たな事業の企画等を行った。
- (2) 広報紙「社協うえだ」の発行  
社協のPRや福祉に関する情報源として、講座、イベント、各地域で行われている福祉活動の様子などを掲載し、偶数月に市内全世帯、学校関係や社協法人会員へ配布した。  
また、さまざまな人の意見を反映するため、市民で構成する広報委員会を実施した。  
広報委員会：年6回 広報委員5人
- (3) 「社協ホームページ」の活用  
社協が行う各種福祉サービスをはじめ、ボランティア情報、社協職員の募集、災害支援情報など、さまざまな情報を発信した。
- (4) 社協オリジナル軍手ィの製作及び販売  
若い世代にもっと社協を知ってもらいたいとの思いから、信州大学繊維学部による「ハナサカ軍手ィプロジェクト」とコラボし、社協オリジナル軍手ィを製作し窓口での販売をしている。更に、市内高等学校と連携し、子育て世代へ社協のPR活動を実施した。

実績推移 (単位：双)

	令和4年度	令和5年度
軍手ィ販売数	131	88

- (5) エンディングノート「絆」の販売  
窓口での販売、及び市内書店に依頼し、店頭での販売を行った。

実績推移 (単位：冊)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
エンディングノート販売数	123	134	13	89	62

- (6) レクリエーション備品の貸出し  
自治会や子ども食堂等へレクリエーション備品の貸出しを行った。

実績推移 (単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
輪投げ	19	0	0	2	26
的当て	20	0	0	2	25
ボッチャ	-	-	-	4	58
モルック	-	-	-	-	41
レクリエーションネット	0	0	0	0	4
エアボール	2	0	0	0	5

### 評価・課題

広報委員会から意見をいただき、市民の声を反映させた広報紙づくりに努めた。今後は SNS を活用するとともに、ホームページについても、障害者差別解消法に基づく、合理的配慮を行い、情報がすぐに見つけられるよう整理し、親しみやすいページ作りを進める。今後は若い世代に社協をPRしていくとともに、ニーズをくみ上げ、新たな事業の企画に向けて調査をする。

## 6 希望の旅事業

【令和5年度事業費】 140千円

### 【事業概要】

日ごろ、旅行に出る機会が少ない在宅の重度障がい者の方に、社会交流の場とレクリエーションの機会を作り、より生きがいを高めることを目的に一泊二日または、日帰りの旅行を実施している。

事業実績
11月21日、22日に、上越方面へ一泊二日の旅行を実施し、14人（障がい者7人、介護者7人）が参加した。
評価・課題
4年ぶりの一泊旅行となり、参加者からは、行き先や行程とも好評であったが、一日目が寒かったこともあり、開催時期を検討してほしいとの声が聞かれた。今後は参加者の意見も踏まえ、開催時期を検討していく。 参加者が固定化しているため、更なる周知と、新規希望者が増えるような企画が必要である。また、介護者の高齢化により、旅行中介護者のみでは対応できない場面が増えてきており、参加形態や職員の配置等が課題である。

## 7 上田市ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

【令和5年度事業費】 4,741千円

### 【事業概要】

子育ての手助けをしてほしい人と、子育てのお手伝いをしたい人が会員として登録し、子育ての相互援助を有償で行う会員組織である。

事業実績					
(1) 活動実績推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
活動(回)	1,744	1,331	1,507	1,801	1,481
活動時間(時間)	1,532.5	1,305.5	1,371.5	1,559	1,438
利用会員(人)	357	279	320	372	338
(2) 会員数推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
依頼会員(人)	435	435	447	425	417
提供会員(人)	280	285	286	283	289
両方会員(人)	58	54	55	48	62
(3) 前期講習会	4日間	54人参加			
(4) 後期講習会	4日間	44人参加			
(5) 会員交流会	2回	1人参加			
(6) フォローアップ研修会		31人参加			

(7) 登録会	3回 10組 17人参加
(8) 提供・両方会員情報交換会	24人参加
評価・課題	
<p>依頼会員、提供会員ともに、提供会員宅での預かりに不安を感じる人が増え、公共施設での預かりを希望するケースが多くなってきた。実際に公共施設で活動を行った会員双方から「安心して預けたり、預かったりすることができた。」という声が聞かれた。今後も更に増えていくことが予想される。</p> <p>また、ここ数年、育児不安や不登校など困難な状況にある親からの相談が多くなってきている。依頼を受けるに当たり、子どもの安全や提供会員の負担を考慮し、他の機関とも連携を取りながら、サポートを行っていききたい。</p>	

## 8 福祉推進事業

【令和5年度事業費】 4,289千円

### 社協お結びサポーター事業

#### 【事業概要】

住民どうしによるふれあい、支え合いの仕組みづくりをお手伝いするために、平成28年度から丸子・真田・武石の3地区をモデル地区として「社協お結びサポーター」を配置した。

現在は、7地区(8人)に配置している。地域の福祉ニーズは何か、どんな福祉サービスが必要かをいっしょに考え、人と人を結ぶ、人と地域を結ぶ、人と機関を結びつけるお手伝いを行う。

事業実績					
活動実績	(単位：回)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自治会への訪問	75	20	39	1	57
サロンへの訪問	12	2	12	2	5
子育て事業への参加	26	10	13	14	24
その他(会議への参加等)	35	40	31	104	56

評価・課題	
<p>お結びサポーターの役割と生活支援コーディネーターの役割が重複している部分が多く、お結びサポーターが単独で活動することが難しくなっている。今後は、社協地区担当職員や生活支援コーディネーターといっしょに訪問し、活動の機会を増やしていきたい。</p>	

### 地区社協住民会議

#### 【事業概要】

地域住民が主体となってさまざまな問題を協議し、相互に地域福祉に関心と理解を深め、福祉のまちづくりを目指すため、全16地区社協で開催されている。

事業実績		
活動実績		
地区名	内容	参加人数
東部	講演「高齢者の交通事故防止について」	45人

南部	講演「認知症になっても地域で元気に暮らす意義について」	28人
中央	意見交換会「こどもまんなか、地域でできることと」ミニ講座、グループディスカッション	41人
北部	講演「認知症にまつわる介護について」	52人
西部	活動紹介「ARAYA 笑顔まもりたい」、グループワーク（情報交換）	35人
城下	講演「災害時、住民への緊急連絡体制について」	25人
塩尻	ワークショップ「高齢者男性よ外に出よう」	42人
川辺・泉田	講演「地域おこし協力隊員から見た上田について」	31人
神川	講演「フードドライブ事業について」	49人
神科	講演「地域で共に支え合い助け合うために」	108人
豊殿	講演「災害に対する備え」	32人
塩田	講演「みんなのしおだ食堂の取組について」	110人
川西	講演「子どもたちは、なぜ不登校になるのか？～さくら国際高等学校の取組～」	40人
丸子	講演「超高齢社会での地域作り」～支える側から我事へ～	80人
真田	講演「ヤングケアラーを支える為に必要な支援とは」	81人
武石	講演「生活習慣病の予防と改善 侮ってはいけない生活習慣病」～糖尿病～	39人

#### 評価・課題

防災や子どもに関する内容など、身近に感じるテーマで住民会議を行った。講演だけでなく、グループディスカッションを取り入れるなど、地区ごと工夫を凝らした取組が行われた。今後も企画段階から地区担当職員も積極的に参加、連携しながら住民会議を行っていききたい。

## 住民支え合いマップづくり

### 【事業概要】

住民支え合いマップは、支援が必要な人の困りごと、人のつながり等を住宅地図上に書き込むことで、地域の情報の見える化を図り、地域の支え合いにつなげていく。

近年、少子高齢化、人口減少や核家族化の進行等により、地域住民のつながりが希薄になっている。

住民支え合いマップは、日ごろの地域での支え合い活動や災害時の支援、共助の仕組みづくりに活用していただくことを目的としている。

#### 事業実績

住民支え合いマップ作成実施自治会状況

(単位：自治会)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
協定書締結自治会	171	176	182	182	183
完成自治会	207	212	225	228	232
更新自治会	63	90	112	92	103

#### 評価・課題

住民支え合いマップは、日ごろからの支え合いが、災害時の支援にもつながってくる。そのため、自治会内で行っている支え合い活動と一体的になるような取組を、今後も行っていきたい。

また、更新が滞っている自治会や、支え合いマップが未作成の自治会については、引き続き

他の自治会の活用事例を広報紙やホームページ等で情報提供しながら、地区担当職員や行政と連携し、更新や作成を促していきたい。

更に、令和 5 年度は、住宅地図にハザードマップを取り入れるためのシステム準備が整った。令和 6 年度はシステム稼働を目指し、災害時の避難誘導を検討する上で、役立つよう進めていきたい。

## 車いす、特殊寝台貸出事業

### 【事業概要】

上田市在住の高齢の方、身体に障がいのある方、一時的に歩行や日常生活を営むことが困難になった方に対し、診療、外出等に必要な場合に車いすや特殊寝台を一定期間無料で貸し出す事業

事業実績					
(1) 車いす貸出事業 貸出件数					(単位：件)
地区	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上田	246	141	113	126	94
丸子	53	40	33	36	38
真田	14	8	9	21	9
武石	1	1	1	3	6
合計	314	190	156	186	147
(2) 特殊寝台貸与事業 貸出件数					(単位：件)
地区	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上田	13	12	8	4	6
丸子	1	3	2	1	2
真田	1	1	0	0	0
武石	0	8	1	4	1
合計	15	24	11	9	9

## その他(高齢者福祉事業)

事業実績	
(1) 真田地区センター	
ア 一人暮らし高齢者親睦会事業	
・親睦会（脳トレ・ボッチャ体験・講演会）2回	延べ37人参加
・ふれあいの旅（日帰りバス小旅行）	19人参加
(2) 武石地区センター	
ア 高齢者サロン事業	
介護予防体操を21回実施	延べ817人参加
イ 武石地域敬老会事業	
武石地域の65歳以上の方を対象に、社会への貢献に感謝し、長寿のお祝いと今後の健勝を祈念した式典と祝宴を開催する予定だったが、祝宴はコロナ等の感染防止のため時間を短縮して実施した。	
9月9日（土）	192人参加

評価・課題

(1) 真田地区センター

一人暮らし高齢者親睦会事業（親睦会・ふれあいの旅）は、基本的な感染対策に配慮しつつも事業を縮小することなく取り組み、参加した会員からは、心身のリフレッシュや相互の交流ができてよかったとの声が聞かれ好評であった。

なお、運転免許証返納等により移動手段がない会員が増えていることから、会場までの送迎も含め、引き続き事業の内容を工夫するとともに周知を図り、参加しやすい環境を整えていく。

また、会員の安否確認を兼ねた絵手紙送付の取組は、絵手紙ボランティア団体の活動休止により実施困難な状況にある。今後、絵手紙作成ボランティアの発掘や育成が課題である。

(2) 武石地区センター

武石地域敬老会は依田窪南部中学校吹奏楽部による演奏と武石小学校6年生のお祝い動画を鑑賞した。式典では代表者の100歳に達する方に記念品を渡した。祝宴は感染拡大防止のため時間を短縮し、武石のボランティア団体の方々の演奏やフラダンスを披露していただき、高齢者の方も地域の方々の活躍する姿を見て大変喜ばれた。

令和5年度に実施できなかった高齢者サロン（楽しい会）と、敬老会事業の祝宴は令和6年度に実施する予定

9 点字・声の広報発行事業(市受託事業)

【令和5年度事業費】 273千円

【事業概要】

広報うえだ、議会だより、社協うえだの内容を点訳やテープへの録音により、視覚障がい者へ情報提供を行う事業

事業実績

(1) 点字広報利用者

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
広報うえだ	25	24	12	12	9
議会だより	10	9	7	8	6
社協うえだ	24	24	20	17	17
丸子自治センターだより	8	8	7	5	5

(2) 声の広報 (CD) 利用者

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
広報うえだ	12	12	11	8	8
議会だより	20	21	9	8	8
社協うえだ	20	14	11	10	10
丸子自治センターだより	9	2	5	5	4

(3) 声の広報 (カセット) 利用者					(単位: 人)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
広報うえだ	8	8	7	6	5
議会だより	9	9	8	7	5
社協うえだ	14	20	8	7	7
丸子自治センターだより	2	9	3	3	3

**評価・課題**

ボランティア団体に御協力いただき、点訳・音訳した広報を発行することができた。  
 利用者が年々減少しているため、必要としている人に情報を届けられるよう、市や関係団体と連携して対象者の把握を行い、事業の周知、利用者の増員に努めたい。

## 10 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

【令和5年度事業費】 3,927千円

### 【事業概要】

認知症の高齢者、知的または精神に障がいがある方で、判断能力が不十分なため、日常生活での福祉サービス利用の仕方や、金銭管理等がうまくできない方を対象とした支援事業

事業実績					
(1) 日常生活自立支援事業					
ア 相談内容					(単位: 件)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症高齢者関連	797	1,124	1,002	1,578	1,669
知的障がい関連	3,851	3,526	3,916	4,788	6,405
精神障がい関連	3,659	3,206	3,727	3,624	4,438
その他	50	32	83	110	128
合計	8,357	7,888	8,728	10,100	12,640
イ 契約状況					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規契約(件)	6	8	8	10	7
解約(件)	8	10	14	10	7
利用者(人)	79	77	71	71	71
ウ 支援実績推移					(単位: 回)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支援援助	1,656	1,643	1,670	1,803	1,856
(2) 金銭管理・財産保全サービス事業 契約件数 0件					
評価・課題					
<p>関係機関と連携を密にし、情報共有を行い、本人に寄り添った支援を心がけた。            関係者からの新規相談が大半だが、事業の主旨と異なる支援を求められることが多く、福祉サービス利用援助が主であることを、引き続き周知をしていく必要がある。            また、長野県社会福祉協議会の方針で、代理支援から代行支援重視へ変わりつつあることで、支援時間延長のため利用料金が増額になり、利用者への負担が懸念される。</p>					



権利擁護支援の充実のために、本人の意思尊重の観点から、現在休止している、金銭管理・財産保全サービス事業の再開を検討していく。

## 1 1 地域ふれあい事業

【令和5年度事業費】 32,942千円

### 地域ふれあい事業（市補助事業）

#### 【事業概要】

地域の特性に応じた住民参加による交流や助け合い活動等を通して、明るく活力ある地域を創造することを目的としている。

事業実績			
実施内容	自治会数	実施内容	自治会数
世代間交流に関する事業	162	敬老会	164
生きがいづくり事業（茶話会・健康体操含む。）	203	ボランティア活動	9
マップ作り・更新	28	環境整備事業	75
広報・啓発活動	16	子育て支援に関する事業	56
学習講座	43	その他	83
訪問活動（配食含む。）	101		
評価・課題			
<p>地域ふれあい事業は、自治会ごとに、地域の特性を生かしたさまざまな活動が行われている。コロナ禍で活動を控えていた自治会も事業を再開しつつある。</p> <p>今後も事業を再開する自治会が増えると思われるため、ふれあいの会の事業等について相談があった場合は、地区担当職員を中心に対応していく。</p>			

### 福祉推進委員

#### 【事業概要】

地域における福祉の推進を図るため、各自治会から推薦いただき、社協会長が委嘱している。自治会役員、民生委員・児童委員とともに地域の実情に応じたさまざまな福祉活動を行っている。

事業実績			
(1) 福祉推進委員連絡協議会	2回開催	36人出席	
(2) 福祉推進委員講習会	5回開催	125人参加	
講師	J A長野厚生連 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 健康運動指導士 岡田 克也 氏		
(3) 福祉推進委員全体研修会	173人参加		
講演	「地域で健康で元気に暮らし続けるために！」		
講師	公立大学法人 長野大学 社会福祉学部 教授 藤井 博之 氏		

## 評価・課題

全体的にふれあいの会の活動が活発になってきたが、自治会ごとの福祉推進委員の活動に差が生じている。

また、福祉推進委員の在り方について、検討を重ねているが、令和 6 年度も引き続きの課題である。

## 1 2 上小圏域成年後見支援センター事業(上田市・東御市・長和町・青木村受託事業)

【令和 5 年度事業費】 30,100 千円

### 【事業概要】

上小圏域（上田市・東御市・長和町・青木村）にお住まいの方を対象に、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力の不十分な方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように成年後見制度などの利用支援を行う。

### 事業実績

- (1) 広報業務
  - ア 成年後見制度等の普及及び啓発に関すること。  
実施回数 4 回 159 人参加
- (2) 相談業務
  - ア 支援対象者及びその関係者からの成年後見制度等に関する相談対応
  - イ 地域における相談体制の強化を図るための研修会の開催  
実施回数 3 回 55 人参加
- (3) 利用促進業務
  - ア 行政職員等からの市町村長申立支援に関すること。  
上田市 12 件、長和町 3 件、青木村 1 件（うち、7 件については法人後見として受任）
  - イ 成年後見、保佐及び補助の申立支援に関すること。  
新規相談 121 人、継続相談 272 人：合計 393 人
  - ウ 第三者後見人の紹介に関すること。  
後見人交流会の開催 15 人参加
  - エ 後見人等候補者の推薦に関すること（受任調整に関すること）。  
適切な後見人等候補者推薦を行う小委員会を 11 回開催した。  
検討事案件数 28 件  
依頼先別件数 弁護士会 3 件、司法書士会 3 件、行政書士会 1 件、社会福祉士会 3 件、法人後見 18 件
  - オ 法人後見に関すること。  
後見報酬が見込めない方や、第三者後見人が引き受けることが困難な方に対して、上田市社会福祉協議会が法人として後見業務を引き受けた。  
令和 5 年度新規受任件数 12 件（平成 25 年度からの累計 107 件）  
継続受任件数 67 件
  - カ 市民後見人の養成、受任調整及び監督業務に関すること。  
市民後見人 7 人（平成 31 年度からの累計 11 件）
- (4) 後見人等支援業務
  - ア 親族後見人、第三者後見人等からの成年後見制度に関する手続支援に関すること。
  - イ 親族後見人、第三者後見人等への相談支援に関すること。
- (5) 地域連携ネットワークの構築に関すること。

- 高齢者・障がい者権利擁護地域連携ネットワーク協議会の開催 3回 運営委員参加
- (6) 権利擁護の促進に必要な事業に関すること。  
4市町村との懇談会 5回
- (7) その他、センターの運営に関し、必要な事務に関すること。  
運営委員会 3回、小委員会 11回、市民後見推進委員会 1回、その他の会議参加 9回、研修会参加 13回

別表

(1) 相談件数及び相談者の状況（単位：件）

ア 相談件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規相談	125	88	62	111	121
継続相談	862	523	237	259	272
合計	987	611	299	370	393

イ 対象者別

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症高齢者	359	261	119	121	203
知的障がい者	127	60	21	20	45
精神障がい者	328	196	92	149	66
身体障がい者	41	10	3	8	2
複合	60	42	25	18	27
任意後見	24	7	14	23	25
その他	48	35	25	31	25
合計	987	611	299	370	393

ウ 市町村別

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上田市	680	446	243	304	285
東御市	228	106	37	32	17
長和町	23	20	3	0	48
青木村	38	19	12	7	30
その他	18	20	4	27	13
合計	987	611	299	370	393

(2) 法人後見業務 相談件数及び相談者の状況（単位：件）

ア 類型

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
後見	2,838	3,186	2,817	3,411	3,015
保佐	5,304	6,175	3,834	3,878	3,770
補助	0	111	225	404	459
合計	8,142	9,472	6,876	7,693	7,244

イ 対象者別

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症高齢者	936	1,287	1,654	1,814	1,954
知的障がい者	3,223	4,150	2,500	3,203	2,822
精神障がい者	2,154	2,306	1,728	2,353	2,142

身体障がい者	77	4	0	0	0
複合	1,551	1,604	989	323	214
その他	201	121	5	0	112
合計	8,142	9,472	6,876	7,693	7,244

ウ 市町村別

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上田市	6,334	7,430	5,736	6,002	6,017
東御市	639	765	611	678	513
長和町	1,048	1,277	408	952	659
青木村	0	0	73	61	55
その他	121	0	48	0	0
合計	8,142	9,472	6,876	7,693	7,244

評価・課題

令和5年度に、市民後見人養成講座を開催したが、講座修了者は1人であり、講座開催のたびに受講者や修了者が減少している。上小圏域4市町村とオブザーバーとして参加している長野県社会福祉協議会とともに後見制度担い手育成のため、受講者増加に向け、引き続き協議をしていく。

また、高齢者・障がい者権利擁護地域連携ネットワーク協議会の中で、「虐待」をテーマにグループワークを行い、各参加団体が業種を超えて情報を共有した。

令和6年度も引き続きネットワークの構築のために協議を行っていきたい。

### 13 上田市生活就労支援センター“まいさぼ上田”事業(市受託事業)

【令和5年度事業費】	生活困窮者自立相談支援事業	22,974千円
	生活困窮者家計改善支援事業	3,808千円
	生活困窮者就労準備支援事業	3,996千円

【事業概要】

主任相談支援員を兼ねた所長1人と相談就労支援員4人、家計改善支援員1人及び就労準備支援員1人を配置して生活困窮者に対する包括的な相談・支援を行っている。

(1) 生活困窮者自立生活支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等が困窮状態から早期に脱却するため、支援対象者の自立と尊厳を確保しつつ、状況に応じて包括的かつ継続的な相談支援を実施する。

(2) 生活困窮者家計改善支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、家計収支の均衡が取れていないなど、家計の問題を抱えている支援対象者に対して、家計の視点から包括的かつ継続的な支援により、生活の改善を図ることで家計収支の改善や家計管理能力の向上を図る。

(3) 生活困窮者就労準備支援事業

生活困窮者自立支援法に基づき、市内に居住する生活困窮者等のうち、直ちに就労する

ことが難しい方に対して、一般就労に向けた準備として必要な生活習慣の形成、社会的能力の習得、就労体験の提供等の支援を実施し、一般就労に向けた基礎的な能力を身につける。

事業実績					
(1) 相談者数及び相談件数の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規相談者(人)	265	948	584	349	257
延べ継続相談者(人)	1,386	2,056	2,270	2,046	1,519
延べ相談数(件)	6,339	9,208	7,933	7,214	5,984
(2) 各種講座の開催					
ア	ペアレント・トレーニング講座	10回	延べ68人参加		
イ	ペアトレ*ぷらす講座	6回	延べ57人参加		
ウ	ボランティア活動	12回	延べ97人参加		
エ	体操くらぶ	12回	延べ18人参加		
オ	YOLO'S勉強会	10回	延べ69人参加		
カ	Myふおと倶楽部	9回	延べ43人参加		
評価・課題					
講座を継続的に行うことで、支援対象者の居場所の確保や活動量の維持、社会参加につながっている。講座の参加がきっかけとなり、支援対象者が相談機関につながるケースもあり、今後は講座の継続開催と事業周知が課題となる。					
自立相談支援機関だけでは対応が困難なケース、長期的な支援が必要となるケースが増えている。複雑化したケースについては、関係機関との連携強化が必要になる上、職員の対応力の強化も必要である。					

## 14 有償在宅福祉サービス事業

【令和5年度事業費】 2,620千円

### 福祉移送サービス事業

#### 【事業概要】

日常の外出において単独ではバス、タクシー等の公共交通機関の利用が困難な方に対して、スロープ付きの車いす対応の福祉車両で送迎を行う。

事業実績					
(1) 上田地区センター					
ア 登録者数					(単位：人)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員	148	103	63	70	77
協力会員	7	7	6	6	6
イ 利用状況					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用(回)	997	688	587	594	551
利用会員(人)	226	174	180	178	177
協力会員(人)	49	46	58	67	72

(2) 丸子地区センター

ア 登録者数

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員	28	31	31	33	32
協力会員	11	10	10	8	8

イ 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用(回)	444	457	677	541	657
利用会員(人)	142	141	189	176	184
協力会員(人)	68	58	58	65	65

(3) 真田地区センター

ア 登録者数

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員	12	11	10	11	12
協力会員	13	11	8	8	6

イ 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用(回)	26	41	33	21	28
利用会員(人)	12	16	11	12	17
協力会員(人)	13	18	16	11	13

評価・課題

研修会を開催し、接遇や運転マナーの向上に取り組み、事故なく事業を実施することができた。

運転協力員が少なく移送サービスの調整が難しいことが課題である。新規運転協力員の獲得に向け、引き続き民生委員・児童委員協議会や市で実施している講習会でのちらし配布等、周知の方法を考えていきたい。

## ご用聞きサービス事業

### 【事業概要】

日ごろの生活の中で、感じている困りごとを住民どうしの助け合いにより支援する事業

### 事業実績

(1) 利用回数及び会員数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用(件)	183	199	157	97	78
利用会員(人)	103	98	102	101	109
協力会員(人)	46	47	49	48	30

(2) 令和5年度活動内訳

買物代行 2件 風呂場の掃除 18件 ごみ出し 34件 草取り 8件 雪かき 4件  
その他(換気扇シート貼り替え、灯油の補充等) 12件

評価・課題

令和5年度は、利用会員が微増したが、利用回数は減少した。定期的にごみ出しの協力をしてきた協力会員が年度途中で退会となったことが主な要因である。ごみ出しについては、決まった曜日や時間に活動が必要なことから、活動できる協力会員が限られており、活動が終了となった。

また、令和5年度に初めて協力会員の現況調査を実施した。長年登録しているが、活動がなかったり、生活環境が変わったりして、退会を希望する協力会員が多くいた。利用会員についても、利用がないまま登録されている人が多いため、今後状況を把握していく必要がある。利用会員と協力会員のマッチングが難しい中で、他の事業者や地域包括支援センター、民生委員・児童委員などの関係機関と連携し、相談に対応していく必要がある。

15 心配ごと相談事業

【令和5年度事業費】 316千円

【事業概要】

複雑化する社会から生じる生活上の問題に対して、さまざまな相談に応じる必要がますます高くなっている。

社協の相談事業は、どんな悩みでも、だれでも、いつでも、気軽に相談できる安心のネットワークの一環として、秘密厳守、相談はすべて無料で相談者ととともに考え、良い解決方法が見つかることを願って実施している。

(1) 法律相談事業

弁護士によるさまざまな法的な悩みを解決する無料の法律相談(予約制)

(2) 心配ごと相談事業

全市民を対象にさまざまな相談に応じ、関係機関と連絡を密にして、問題の解決に努める。  
(介護、福祉サービス、家庭内の問題等)

事業実績

(1) 法律相談 (上田・丸子)

相談員：弁護士1人

相談日：毎月第3土曜日 午前10時～正午 (丸子：奇数月1回 午後1時30分～午後3時30分)

相談内容：財産相続、放棄、債務、土地の売却問題、金銭トラブル、離婚など

(2) 心配ごと相談

相談日：毎週月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

相談内容：隣人トラブル、人間関係、家族関係など

(3) 相談件数推移

(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法律相談	73	42	55	73	61
心配ごと相談	160	35	40	70	67

評価・課題

法律相談については、広報紙のほか、民生委員・児童委員の地区定例会において積極的に周知活動を行うことができた。地域住民にとって、日々の生活の中で法的にどんな解決方法があるのか悩んだとき、無料で気軽に足を運び、問題の解決の糸口を見つける場として必要性が高く、重要な役割を果たしている。

心配ごと相談については、地域住民の身近な相談窓口として、相談者の気持ちに寄り添った対応を行うことができた。必要な機関に適切につながりだけでなく、相談してよかったと思えるよう、スキルアップに力を入れていきたい。

## 16 結婚相談事業

【令和5年度事業費】 1,291千円

### 【事業概要】

独身男女の出会いを提供するお手伝いとして結婚相談や、婚活パーティーなどを行っている。

上田地区と丸子地区の2か所で相談を行っており、どちらの窓口でも登録を受け付けている。

登録・相談いずれも無料

また、県内広域での紹介を希望される方は「ながの結婚マッチングシステム NAGANO ai MACTH」への登録も受け付けている。

事業実績

(1) 事業実績推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談(件)	1,903	1,466	1,650	1,490	1,384
来所者(人)	727	506	389	515	463
男性登録者(人)	448	438	454	455	458
女性登録者(人)	149	149	150	179	170
お見合い(組)	76	60	42	49	41
結婚(組)	12	4	2	4	3

(2) ながの結婚マッチングシステム

ア 登録者数 男性 33人、女性 6人

イ 相談来所者数 延べ 39人

(3) お見合い企画

ア 婚活イベント 3回 延べ87人(男性46人、女性41人)参加 カップル成立:8組

イ 男性向け事前セミナー 16人参加

評価・課題

気軽に相談利用していただけるよう、広報紙による周知に加え、民生委員・児童委員の地区定例会での呼びかけ、イベント時に結婚相談所の紹介を行った。相談員が本人の気持ちに寄り添い、適切なアドバイスを行ったことが、出会いのきっかけや結婚の成立につながっていくため、今後も相談員のスキルアップに努めていきたい。

また、相談者を積極的に支援できるよう、ニーズに沿った企画の充実に努めたい。



## 17 たすけあい資金貸付事業

【令和5年度事業費】 1,390千円

### たすけあい資金

#### 【事業概要】

要保護世帯またはこれに準ずる世帯に対し、応急的に貸し付ける制度で、貸付限度額は5万円まで、無利子である。

事業実績					
貸付状況の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談(件)	64	130	65	93	89
貸付(件)	1	90	40	42	27
貸付額(円)	30,132	4,080,253	1,828,000	1,522,460	1,094,300
評価・課題					
<p>貸付後も生活再建されることなく、慢性的な困窮状態に陥っている方が多い。</p> <p>また、長期滞納者に対して、催告書を送付し、所在不明者や返済が難しい方は不能欠損処理を検討していく。</p> <p>更に、償還開始時から滞納が続く方については、状況確認や生活相談を行い、適切な償還指導を行っていく。</p>					

### 生活福祉資金(県社協受託事業)

#### 【事業概要】

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、次の貸付を行っている。

事業実績					
(1) 生活福祉資金貸付状況の推移					
ア 相談件数 (単位:件)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合支援資金	7	798	1,091	156	99
福祉資金	135	2,251	767	426	398
教育支援資金	12	6	8	14	13
不動産担保型生活資金	10	6	4	8	6
合計	154	3,055	1,866	596	516

イ 貸付件数		(単位：件)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
総合支援資金	1	480	385	52	2	
福祉資金	24	749	209	84	10	
教育支援資金	1	2	4	1	0	
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	
合計	26	1,231	598	137	12	

ウ 貸付額		(単位：円)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
総合支援資金	600,000	238,150,000	167,350,000	22,380,000	560,000	
福祉資金	4,250,000	118,792,000	29,816,000	13,595,000	1,943,000	
教育支援資金	585,000	1,019,000	2,211,000	358,000	0	
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	
合計	5,435,000	357,961,000	199,377,000	36,333,000	2,503,000	

#### 評価・課題

特例貸付終了以降も、離職による生活困窮や、就職は決まったが、初回の給料支給までの生活費についてなどの相談が多く寄せられている。まいさぼ上田が実施している家計改善支援事業も利用しながら家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように支援していくことが必要である。

令和6年度は、相談支援体制の強化を図り、フォローアップ事業を行う。

## 18 ボランティア地域活動センター事業

【令和5年度事業費】 947千円

### 【事業概要】

地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めることを目的に、活動に関する「相談」や「広報啓発」、「育成援助」と「活動のできる場」を提供し、必要な連絡調整を行う。

### 事業実績

- (1) 各種講座の開催
  - ・災害救援ボランティア養成講座 2回 12人参加
  - ・点字体験教室（点訳ボランティアの育成） 3回 2人参加
  - ・音訳朗読ボランティアフォローアップ研修 13人参加
  - ・初めて学ぶ手話講座 2回 5人参加
  - ・手軽にできるハンドとリンパトリートメント 2回 24人参加
  - ・ユニバーサルスポーツ ボッチャ&モルック 32人参加
  - ・ボッチャ教室 10人参加
- (2) 社会福祉普及校の指定
  - ・小学校24校、中学校12校（依田窪南部中含む。）、高等学校7校 計43校
- (3) 出前福祉体験事業（高齢者擬似体験、車いす体験、アイマスク体験等）
  - ・小学校13件、中学校10件、高校1件、企業2件 計26件 1,762人

- (4) 福祉体験プログラムの展開  
 ア サマーチャレンジボランティア  
 ・上田地区、丸子地区の児童・高齢者福祉施設でのボランティア活動 180人参加  
 ・真田中学校の生徒を対象に「夏休み自由学習室」 39人参加  
 イ スプリングチャレンジボランティア（対象 上田地区の中学生・高校生）  
 ・上田市街エリアのごみ拾い、切手整理、雑巾縫い、お米の袋詰め 148人参加
- (5) 災害救援ボランティア  
 ア 災害救援ボランティア登録数 個人69人 団体22団体  
 イ 災害救援ボランティアセンター立ち上げ訓練（市防災訓練と合同開催） 31人参加
- (6) 真田地域清掃ハイキング 2回 延べ191人参加
- (7) 上田ボランティア地域活動センター運営委員会の開催
- (8) その他の活動支援  
 ア ボランティア連絡協議会の活動支援  
 イ ひざ掛けの配布（豊殿地区、丸子地区） 238枚  
 ウ 闘病生活を送るガン患者の方にタオルの帽子を提供 596枚  
 エ 丸子珈琲倶楽部「珈琲サロンさざなみ」の開催
- (9) ボランティアニーズ状況 (単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設	155	10	7	22	57
自治会	100	4	9	20	53
学校	7	11	11	6	8
団体	34	34	35	30	33
個人	102	96	59	58	98
合計	398	155	121	136	249

評価・課題

例年行っている学生を対象とした長期休業を利用し、ボランティア活動を行うサマーチャレンジボランティアについては、児童・高齢者福祉施設でのボランティアの受け入れができるようになってきたことから、市内の児童・高齢者福祉施設ボランティア活動を実施した。

ボランティア連絡協議会とも連携し、ユニバーサルスポーツ等を活用した新たな交流・情報交換の場を作り、団体同士協力できる分野があれば活用に努めたい。

ボランティアの高齢化が進んでおり、若い世代の育成が今後の課題としてあげられる。

ボランティア養成講座としてポッチャ教室、災害救援ボランティア養成講座等を開催した。地域活動等に広められるよう今後も継続的に開催したい。

## 19 地域子育て支援拠点事業【連携型、一般型】（市受託事業）

【令和5年度事業費】6,762千円（連携型4,542千円・一般型2,220千円）

### 【事業概要】

地域における子育て支援拠点として、安心して子育て・子育てができることを目的に親どうしの出会いと交流の場、子どもたちが自由にかかわりあう場の提供を行う。子どもを遊ばせながら母親どうしが交流し、情報交換ができる場所として、毎月親子で楽しめるさまざまな講座を企画している。

事業実績					
(1) 子育てひろば講座	リトミック、ふれあい遊び、おもちゃ制作、音楽遊び等 各ひろばで毎月開催	参加親子	延べ	885組	
(2) 職員研修	ア 子育てひろばスタッフ研修			13人参加	
	イ 救急法講習会			6人参加	
	ウ ファミリー・サポート・講習会	2回		8人参加	
別表					
利用状況推移					
ア 大星子育てひろば					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	2,108	1,279	1,239	1,311	2,148
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	13.8	8.4	8.1	8.6	14.0
イ 神科子育てひろば					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	2,488	1,518	1,184	1,431	2,338
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	16.3	9.9	7.7	9.4	15.3
ウ 東塩田子育てひろば					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	1,981	1,917	1,773	1,960	2,398
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	12.9	12.5	11.6	12.8	15.7
エ 清明子育てひろば					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	2,239	1,624	1,486	1,158	1,961
開館（日）	153	153	153	153	153
1日平均利用者（人）	14.6	10.6	9.7	7.6	12.8
評価・課題					
<p>新型コロナウイルス感染症が5類移行に伴い利用人数が増え、マスクを外して晴れやかな表情で過ごす利用者もいた。状況を見ながら、子育てひろばでの感染対策を継続していきたい。清明子育てひろばランチルームも再開し、徐々に利用者が増えている。</p> <p>事前予約なしでの講座開催を増やしたことで、より多くの親子参加につながった。</p> <p>子育てひろば担当者連絡会議を開き、ひろばどうしの情報交換や課題の共有ができた。このような機会を生かし学びあい連携を深めながら職員の資質向上を図っていききたい。</p>					

## 20 上田市高齢者福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和5年度事業費】 36,933千円

### 上田市高齢者福祉センター

#### 【事業概要】

市内に在住する60歳以上の方の生きがいと健康づくりを目的として昭和56年に開設された。平成9年4月1日からは上田市社会福祉協議会が管理運営を行っている。

多くの方がお風呂を楽しみにセンターを利用している。利用者の趣味を生かした20のクラブで、約450人の会員が積極的な活動を行い、高齢者文化祭での発表や作品展示に向けて仲間との交流を図っている。

また、市の高齢者介護課が主催する介護予防体操や自主事業として行っている初級パソコン教室があり、大勢の方々に利用していただいている。

事業実績					
(1) 教養クラブ活動（20クラブ）	16,029人参加				
(2) 高齢者初級パソコン教室	194回	808人参加			
(3) 第46回 高齢者文化祭（サントミュージゼ）	20クラブ参加				
(4) 実習生（看護学校）	21回	67人参加			
別表					
利用状況の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	84,134	37,075	31,905	28,410	43,865
開館（日）	291	247	194	259	291
1日平均利用者（人）	289.1	150.1	164.5	109.7	150.7
評価・課題					
<p>新型コロナウイルス感染症が5類移行に伴い、徐々に利用者も増えてきた。その反面でクラブ会員が減少し、存続が難しいクラブも出てきたため、市や社協の広報紙にクラブ員募集の記事を掲載した。</p> <p>また、高齢者文化祭を初めてサントミュージゼで開催し、活動の周知と会員募集のPRを行った。</p> <p>施設面では、利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、老朽化が年々進み、修繕箇所や設備の不具合が増えているのが課題となっている。</p>					

### 高齢者学園事業（市受託事業）

#### 【事業概要】

「仲間づくり、健康づくり、生きがいづくり」を行動指針に、3つの学習分野（より良い社会参加・健康と生きがいづくり・豊かな長寿社会の実現）を柱に、地域の中でも主体的に社会参加し、地域社会の発展に寄与することを目指して学習に取り組んでいる。

また、講義評価アンケートを実施するとともに、学生からのさまざまな要望や意見を取り入れ、学園生の自発的な学園運営に生かしている。

事業実績	
(1) 学生数	1年生 43人、2年生 27人、3年生 27人
(2) 講義回数	1年生 14回、2年生 14回、3年生 14回
(3) 交流会	1年生 龍光院座禅体験・ともしび博物館 2年生 諏訪大社 3年生 須坂・小布施
(4) 1日研修	1年生 創造館 2年生 鉄の館・さらしなの里資料館・県立歴史館 3年生 善光寺・信毎長野製作センター
(5) 研修旅行	1・2年生 伊豆下田方面（一泊） 3年生 山梨～埼玉（川越）方面（一泊）
(6) クラブ活動	7クラブ 年7回 3学年合同クラブ発表会（サントミュージゼ）開催
(7) 運営委員会	年2回
(8) その他	講義評価アンケートの実施
評価・課題	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、学園生数が減少傾向だったが、令和5年度は、新1年生が43人と大幅に増え、令和6年度以降も定員（40人）を満たすよう努力したい。</p> <p>学習内容については、3学年ともほぼ計画どおりに進めることができた。</p> <p>また、令和6年度にクラブの名称変更を予定しており、現在新たな名称を募集している。</p>	

## 2.1 上田市丸子老人福祉センター設置管理事業（市補助事業）

【令和5年度事業費】 16,416千円

### 【事業概要】

健康増進、教養文化の向上、各種レクリエーション、そして憩いの場として利用できる老人福祉施設である。

事業実績					
利用状況の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	21,503	11,585	9,096	6,683	12,109
開館(日)	305	262	203	306	305
1日平均利用者(人)	70.5	45.0	45.0	22.0	40.0
評価・課題					
<p>令和5年度は4年ぶりに入浴の通年受入れが可能となり、入浴利用者は前年度比の2.4倍に増加した。クラブ活動の利用も前年度比1.3倍に増加し、以前どおりの賑わいが戻りつつある。クラブ活動については、活動自粛中に解散したクラブも多くある半面、小人数でのグループが増加しており、高齢者の居場所として活用されている。</p> <p>施設の環境整備面では、老朽化が進み、年々修繕箇所や設備の不具合が増えている。</p> <p>また、施設の耐震化も未実施であることが課題である。</p> <p>利用者が心地よく過ごしていただけるように努めているが、冷房設備がないため夏の温度管理に苦慮している。改善に向けて市に要望していきたい。</p>					

## 2 2 上田市真田老人福祉センター管理事業（指定管理事業）

【令和 5 年度事業費】 8,309 千円

### 【事業概要】

高齢者の健康相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなど憩いの目的に利用されている。

事業実績					
利用状況の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	9,887	3,961	2,501	1,707	4,667
開館（日）	298	259	166	259	304
1日平均利用者（人）	33.2	15.3	15.1	6.6	15.4
評価・課題					
<p>引き続き基本的な感染対策に留意しながら、施設の管理運営に努めた。</p> <p>5類への移行も影響し、利用者数が前年度比の2.7倍となりコロナ禍前の5割弱まで戻ったものの、引き続き利用者数減少傾向への対応が課題である。</p> <p>建物本体の老朽化の進行が懸念されることから、引き続き魅力ある施設環境が維持できるような適正な管理に努めるとともに、点検、修理を行いながら安全・安心な利用環境が整うよう取り組む。</p> <p>また、自主事業についても内容等を工夫しながら取り組む。</p>					

## 2 3 真田ふれあいバス運行事業（市受託事業）

【令和 5 年度事業費】 3,707 千円

### 【事業概要】

真田老人福祉センターへの利便を図るため、定期的にふれあいバスを運行している。公共のバス路線では対応できない地域に密着した路線を中心に運行している。

運行内容：25人乗りマイクロバス 真田地域内巡回（迎え1回・送り2回）

事業実績					
利用状況の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	4,824	2,035	2,302	1,521	2,224
運行（日）	185	177	187	190	189
1日平均利用者（人）	26.1	11.5	12.3	8.0	11.8
評価・課題					
<p>引き続き基本的な感染対策に留意しながら、市からの受託業務として安全、丁寧な運行に努めた。</p> <p>9月中旬の局地的豪雨災害により運行区間の一部が通行止めとなったが、利用者に支障とな</p>					

らないよう周知を図りルートを変更し運休することなく取り組んだ。

5類移行による老人福祉センター利用者数の影響もあり、バス利用者が前年度比の1.5倍とコロナ禍前の5割弱まで回復したが、施設の利用者数に影響される傾向が今後も懸念される。

引き続き、老人福祉センター等への利便を図るなど地域に密着した交通手段確保に向け、感染対策に配慮しながら安全・安心な運行に取り組む。

## 2 4 上田市ふれあい福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和5年度事業費】 15,399千円

### 【事業概要】

障がい者及び高齢者の社会参加の支援、市民のボランティア活動への参加を積極的に促進するとともに、市民と高齢者、ボランティアの交流を推進することを目的に、福祉の拠点として多くの方が利用されている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	29,047	11,616	10,342	11,517	20,005
開館(日)	358	306	240	349	358
1日平均利用者(人)	81.1	37.9	43.0	33.0	55.8
評価・課題					
<p>上田市ふれあい福祉センターの予約方法を変更し、利用者の利便向上に努めた。</p> <p>令和4年度に大規模な高圧受電設備の改修工事と、エレベーター改修工事を行ったため、令和5年度は付随する修繕で、案内表示板などの交換を行った。</p> <p>建物の老朽化から自動ドア、外構の修繕が必要であり、引き続き上田市と協議していく必要があるが、施設の耐震化が未実施であることが大きな課題である。</p>					

## 2 5 上田市真田総合福祉センター管理事業(指定管理事業)

【令和5年度事業費】 4,712千円

### 【事業概要】

地域の多くの方に利用していただける施設である。障がい者及び高齢者の社会参加を支援するとともに、市民のボランティア活動への参加を積極的に推進することを目的としている。

事業実績					
利用状況推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	14,226	2,714	3,134	3,440	8,370
開館(日)	360	306	277	314	360
1日平均利用者(人)	39.5	8.8	11.3	11.0	23.3



評価・課題

引き続き基本的な感染対策に留意しつつ、施設の管理運営に努めた。  
 自主事業については、新たな内容も加え現状で行える規模の中で工夫をしながら取り組んだ。  
 利用者数が前年度比の2.4倍となり、コロナ禍前の6割弱まで回復し、昼夜を問わず幅広い年齢層に利用されているが、引き続き利用者数の減少が課題である。  
 老朽個所については、講堂の雨漏り改修など、できる限り修繕等を行っているものの、シロアリ被害も再三発生しており躯体への影響が懸念される。  
 今後も利用者の視点に立ち、魅力ある施設環境が維持できるよう適正な管理に努めるとともに、点検、修理を行いながら安全・安心な利用環境が整うよう取り組む。  
 また、自主事業についても、引き続き内容や規模等を工夫しながら取り組む。

**26 上田市長瀬市民センター管理事業(指定管理事業)**

【令和5年度事業費】 4,819千円

【事業概要】

市民の福祉の増進に寄与することを目的として、会場の貸出し等の管理運営を行い、市民に広く利用されている。

事業実績

利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	13,348	6,479	8,795	7,456	7,737
開館(日)	310	228	211	267	306
1日平均利用者(人)	43.1	28.4	41.6	27.9	25.2

評価・課題

令和5年度は、通年開館できたが、施設利用者数は前年度比で横ばいだった。利用団体においては高齢化などで会員数の減少が生じている。  
 施設的环境整備面では、建物の老朽化から修繕費が年々増加傾向である。利用者が安全・安心に利用してもらえるよう、必要な修繕に関して市に要望していきたい。

## 27 共同募金配分金事業



【令和5年度事業費】 14,960千円

### 【事業概要】

赤い羽根共同募金運動は戦後の混乱した経済社会状況の中、「国民助けあい」の精神を基に始められ、民間社会福祉事業の経済的基礎を確立する上で大きく貢献してきた。

現在、共同募金にお寄せいただく善意は、民間社会福祉施設や団体にとって貴重な活動財源になっており、地域福祉の向上に役立てられている。

毎年10月1日から各都道府県共同募金会が主体となって全国一斉に展開される共同募金運動に上田市社協も積極的に協力している。

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	23,826,167	24,033,552	23,165,536	21,384,000	20,802,758
法人募金	1,599,416	1,507,297	1,576,083	1,556,815	1,421,802
街頭募金	510,167	570,612	767,137	596,122	570,669
学校募金	259,095	268,548	322,144	274,138	282,117
職域募金	158,510	202,820	194,754	179,700	188,057
その他の募金	45,686	28,838	128,075	113,022	154,242
合計	26,399,041	26,611,667	26,153,729	24,103,797	23,419,645

### 上田地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移	(単位：円)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	16,650,761	16,873,031	16,346,958	15,097,423	15,002,147
法人募金	1,211,055	1,181,767	1,238,135	1,203,108	1,092,133
街頭募金	438,994	492,860	609,883	481,414	488,306
学校募金	196,849	208,998	256,128	235,347	214,332
職域募金	99,141	132,745	134,797	132,249	124,107
その他の募金	11,586	8,838	127,566	102,204	112,490
合計	18,608,386	18,898,239	18,713,467	17,251,745	17,033,515

## 丸子地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	4,192,632	4,201,556	3,997,380	3,583,060	3,350,803
法人募金	319,861	266,530	273,948	269,707	266,669
街頭募金	51,577	48,625	130,016	69,034	32,755
学校募金	37,298	34,652	35,591	19,914	46,993
職域募金	25,241	44,470	29,582	22,831	26,695
その他の募金	34,100	20,000	509	10,818	41,752
合計	4,660,709	4,615,833	4,467,026	3,975,364	3,765,667

## 真田地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	2,033,824	1,999,465	1,864,186	1,749,629	1,541,195
法人募金	65,500	56,000	54,000	74,000	53,000
街頭募金	13,735	15,522	16,123	25,659	18,289
学校募金	21,284	21,947	26,530	17,624	20,110
職域募金	26,335	19,356	21,397	14,258	17,715
その他の募金	0	0	0	0	0
合計	2,160,678	2,112,290	1,982,236	1,881,170	1,650,309

## 武石地区共同募金配分事業

事業実績					
実績推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
戸別募金	948,950	959,500	957,012	953,888	908,613
法人募金	3,000	3,000	10,000	10,000	10,000
街頭募金	5,861	13,605	11,115	20,015	31,319
学校募金	3,664	2,951	3,895	1,253	682
職域募金	7,793	6,249	8,978	10,362	19,540
その他の募金	0	0	0	0	0
合計	969,268	985,305	991,000	995,518	970,154

### 評価・課題

年度当初に、ここ数年の募金実績を考慮し、配分計画や目標額を立て共同募金運動を実施した。令和5年度も自治会役員をはじめ、多くの住民の方々に御協力をいただいた。

募金実績としては、目標額を上回ることができたものの、戸別募金と法人募金では、目標額に達せず、また、令和4年度実績額よりも減少となった。長引く物価高が生活に影響している

ことも一つと考えられる。

引き続き、配分団体とともに、赤い羽根共同募金の使い道の「見える化」をしていく必要がある。また、広く住民に還元できるような事業を実施し、地域福祉の推進に努めていくことで、住民の方々に御協力いただけるよう働きかけたい。

## その他(高齢者事業)

## 共同募金配分金事業



事業実績	
(1) 上田地区	サロン支援事業 6回 85人参加 体操教室等を開催し、住民のつながりづくりや参加者が自分の地域でサロンを立ち上げていただくことを目的としている。
(2) 丸子地区	みまもり(声かけ)訪問事業 登録利用者3人 登録ボランティア12人 件数71件 65歳以上の方のみの世帯、または同居されていても日中独りになる方で介護保険サービスを利用されていない方が、住みなれた地域で孤立することなく安心して暮らすことができるよう、ボランティアによるみまもり声かけ訪問を行う。
(3) 真田地区	一人暮らし高齢者親睦会 3回 56人参加 生きがいのある老後をおくるために会員の親睦及び融和を図り、相互のコミュニケーションを深めることを目的としている。
(4) 武石地区	ア 高齢者弁当配達事業 75歳以上の独り暮らしの方を対象に、ふれあいを深め地域の絆を感じていただくとともに良い年を迎えていただきたいとの趣旨で、民生委員・児童委員の協力を得て年末に弁当93食を無料でお配りした。 イ お茶オケサロン(71回)、健康マージャン(95回)を開催し、交流を深めた。
評価・課題	
(1) 上田地区	サロン支援事業については、参加者がお住まいの地域のサロン事業の参考となるよう、スクエアステップやストレッチなど、さまざまな運動の教室を複数回開催することができた。健康に関する教室開催の要望が多く聞かれたので、令和6年度以降も継続していく。
(2) 丸子地区	丸子地区の独自事業である「みまもり(声かけ)訪問事業」は、地域住民のボランティアによって支えられてきた。登録されている利用者は、自宅に引きこもりがちな方で地域との関わりが薄い方たちである。ボランティアの訪問を楽しみにしている方が多く、地域コミュニティの中で孤立しないよう、関係機関と連携して利用者を把握していきたい。
(3) 真田地区	親睦会では脳トレやボッチャ、生活に役立つ講演会等を実施し、ふれあいの旅としては季節を感じる行程や食事を楽しめるバス旅行を実施した。参加者からは毎回好評をいただいております。今後も継続していけるよう、参加しやすい企画を検討していく。
(4) 武石地区	ア 高齢者弁当配達事業は、民生委員・児童委員の協力をいただき配布した。今回も高齢者の皆さんから楽しみにしていたとお声をいただいた。民生委員・児童委員も年末の重要な事業であると捉えていただいているので、引き続き実施したい。

イ お茶オケサロン、健康マーじゃんについては交流を図る上で効果的な事業であり、シニアクラブ会員を中心に週2回の活動を継続していきたい。

## その他(児童福祉事業)

### 共同募金配分金事業



事業実績			
子育て中の親を対象に、交流の場づくりとリフレッシュ、子育てに関わる学習会を目的とした事業。			
(1) K I D' S ロディオガ教室	2回	11組	26人参加
(2) 体操くらぶ	12回	延べ	130人参加
(3) ママのためのリンパケア			5人参加
(4) 親子ピラティス	2回	16組	20人参加
(5) ママカフェ	10回	6組	12人参加
評価・課題			
体操くらぶは、まいさぼ上田と協働で年間を通して開催した。 また、子育て支援事業は、主に未就学児から小学校低学年とその保護者を対象とした講座等を開催した。 今後も、赤い羽根共同募金の事業であることを周知しつつ、子育て中の保護者の居場所づくりや、講座を企画していきたい。			

## その他(住民全般事業)

### 共同募金配分金事業



事業実績			
(1) 上田地区	赤い羽根コットン smile 応援(尿取りパッド・生理用品贈呈)事業 民生委員・児童委員を通じた尿取りパッドの贈呈 上田地区 16地区 対象者 854人 高等学校への生理用品の贈呈 5校 900パック		
(2) 真田地区	真田地域清掃ハイキング	2回	191人参加
評価・課題			
(1) 上田地区	赤い羽根コットン smile 応援(尿取りパッド・生理用品贈呈)事業については、在宅で尿取りパッドを使用されている方に、民生委員・児童委員を通じて尿取りパッドを贈呈することで、地域でのつながりづくりや在宅生活の一助となった。 生理用品については、事業を始めるに当たり、高校生ボランティアミーティングを実施した。希望のあった高等学校5校に生理用品をお届けし、トイレに設置してもらうことができた。目には見えづらい「生理の貧困」への対応や、生徒自身が補充をすることで、福祉の意識醸成につながった。 事業の実施状況について、今後も民生委員・児童委員や高等学校と連携し、実情を把握していく必要がある。		
(2) 真田地区	清掃ハイキングは、例年春と秋の2回実施しているが、ボランティア団体を始め、学校、企業と幅広く参加者が集まり、清掃活動を通して地域住民の良い交流の場となっている。令和5年度は、他の地域のイベントや学校行事と重なるなどして、春に比べ秋の参加者が少なかった。今後は参加形態や開催日程等検討していく。		

# 団体事業の育成 共同募金配分金事業



## 【事業概要】

各種福祉団体事業を推進するため、協力費として活動費を助成し、団体育成に努めている。

事業実績			
(1) 上田地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田地域福寿クラブ連合会	194,000	うえだ市民ふれあい広場実行委員会	31,000
NPO 法人上田市身体障害者福祉協会	204,000	上田地区保護司会	97,000
上田市赤十字奉仕団	64,000	上小手話サークル	49,000
上田ボランティア連絡協議会	40,000	チャイルドラインうえだ運営委員会	146,000
上田地区更生保護女性会上田支部	49,000	点訳サークルでんでん虫の会	49,000
モチーフの会	49,000	長野県上田千曲高等学校生活福祉科	97,000
上田市子ども会育成連絡協議会	68,000	豊殿デマンド交通委員会	194,000
上田市視覚障がい者福祉協会	78,000	豊殿ふれあいサロン hinatabocco とよさと 豊殿ふれあいサロン運営委員会	194,000
上田市肢体不自由児者父母の会	20,000	〇〇カフェやすらぎ	30,000
上田市聴覚障害者協会	58,000	合計 19 団体	1,711,000
(2) 丸子地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
丸子地域シニアクラブ	120,000	上田市食生活改善推進協議会丸子ブロック	27,000
丸子身体障害者福祉協会	120,000	丸子モチーフの会	40,000
上田市丸子地区赤十字奉仕団	18,000	E-キャップの会	64,000
丸子ボランティア連絡協議会	90,000	NPO 法人子育て応援団ばれっと	152,000
上田地区更生保護女性会丸子支部	32,000	傾聴ボランティア・まるこ	64,000
		合計 10 団体	727,000
(3) 真田地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
真田地域シニアクラブ	30,000	グリュックの会	16,000
上田市真田地区赤十字奉仕団	30,000	さなだ支え合い会議	16,000
真田地域ボランティア連絡協議会	70,000	大福会	20,000
上田地区更生保護女性会真田支部	12,000	ふれあい広場実行委員会	70,000
上田市真田地域食生活改善推進協議会真田ブロック	30,000	NPO 法人ほこほこコネクト	33,000
おとぎの会	16,000	ミミールの会	15,000
おもちゃ図書館くるくるさなだ	30,000	合計 13 団体	388,000
(4) 武石地区 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
武石シニアクラブ	80,000	武石えん結びの会	20,000
武石身体障害者福祉協会	20,000	武石地区社会福祉協議会	128,518
武石ボランティア連絡協議会	10,000	武石もみじ会	40,000
上田地区更生保護女性会武石支部	10,000	ふれあいカフェ武石	10,000
		合計 8 団体	318,518

(5) 上田市全域 活動費助成団体		(単位：円)	
団体名	助成金額	団体名	助成金額
上田市自治会連合会	241,000	上田市民生委員・児童委員協議会	333,000
		合計 2 団体	574,000

## 28 地域包括支援センター事業(市受託事業)

### 【事業概要】

地域住民が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、必要な介護サービスや保健福祉サービス、その他、日常生活支援などの相談に応じる機関である。

### 神川地域包括支援センター事業

【令和5年度事業費】 30,211 千円

事業実績					
(1) 相談件数の推移 (単位：件)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合的な相談・支援	1,300	1,460	1,404	1,203	1,963
権利擁護	464	486	681	645	496
介護予防ケアマネジメント	1,340	1,508	2,148	3,000	3,862
包括的・継続的ケアマネジメント	716	700	567	845	1,351
(2) 事業内容の推移 (単位：件)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
夜間緊急相談	138	124	148	200	243
介護予防活動	111	23	17	103	156
会議・研修等	179	103	116	121	139
医療・関係機関との連携	437	132	411	401	633
介護支援専門員に対する支援	19	7	3	24	35
実態把握	73	128	86	99	112
介護予防プラン作成	7	3	1	2	4
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	2,615	2,880	2,673	2,648	2,796
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（5回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（3回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（14か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（9回）					
カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等					
キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）					
ク 包括だより発行					

評価・課題

- (1) 総合相談業務においては、関係機関と連携を図りながら適切な対応ができるよう取り組んだ。特に増加する認知症相談、退院支援相談等の新規相談においては早期訪問、早期対応を心がけた。
- (2) 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問を通じ、支援を必要とする住民の早期発見、地域課題の把握が行えるよう、よりいっそう努力していきたい。
- (3) 多重問題を抱えた家族の支援、支援困難ケース、身寄りのない方の支援が増えており、長期的、継続的に支援が必要なケースが増えている。
- (4) 地域包括ケアシステム推進、生活支援体制整備事業の充実を図るため、地域住民や関係機関と積極的な関わりを持ち、住民のニーズ、地域資源の把握に取り組んでいく。

## 丸子地域包括支援センター事業

【令和5年度事業費】 31,098千円

事業実績

事業実績					
(1) 相談件数の推移					(単位：件)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合的な相談・支援	2,118	2,078	1,796	2,525	2,962
権利擁護	116	339	254	750	783
介護予防ケアマネジメント	5,365	5,298	4,832	3,616	3,437
包括的・継続的ケアマネジメント	838	838	726	850	654
(2) 事業内容の推移					(単位：件)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
夜間緊急相談	267	259	166	142	148
介護予防活動	42	32	29	20	69
会議・研修等	143	238	177	430	556
医療・関係機関との連携	612	358	292	633	763
介護支援専門員に対する支援	25	25	23	26	25
実態把握	101	129	94	110	110
介護予防プラン作成	21	16	10	17	11
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	3,114	3,022	2,856	2,923	2,913
(3) その他					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）					
イ 地域ケア会議の開催（5回）					
ウ 認知症サポーター養成講座（2回）					
エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（30か所）					
オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（5か所）					
カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等					
キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）					
ク 包括だより発行					



評価・課題

- (1) 単身・高齢者のみ世帯が増加し、地域からもさまざまな生活課題を抱えた相談ケースが増加する状況の下、地域の関係者をはじめ、あらゆる関係機関との連携を図りながら迅速かつ適切な相談支援に努めた。
- (2) 地域ケア推進会議では、ヤングケアラーの課題を通して家族介護の実情を知り、孤立を防ぎながら地域の中で支えていくための大切なヒントを得ることができた。地域社会におけるさまざまな生活課題を解決していくための方策について、参加者とともに学ぶことができた。
- (3) 個別支援と地域支援を同時に担う地域包括支援センターの役割がますます増大する中、日々の実践やさまざまな課題を生かしながら、地域包括ケアシステムの構築を進めていく必要がある。

## 真田地域包括支援センター事業

【令和5年度事業費】 26,220 千円

事業実績

(1) 相談件数の推移 (単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合的な相談・支援	1,155	1,682	1,406	2,405	1,848
権利擁護	100	192	209	419	208
介護予防ケアマネジメント	2,206	2,454	2,599	2,094	1,982
包括的・継続的ケアマネジメント	234	533	526	529	655

(2) 事業内容の推移 (単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
夜間緊急相談	27	78	94	115	69
介護予防活動	45	57	59	83	147
会議・研修等	129	142	301	460	485
医療・関係機関との連携	221	404	475	369	404
介護支援専門員に対する支援	9	5	20	164	157
実態把握	76	83	72	66	79
介護予防プラン作成	12	14	11	7	3
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	2,054	2,010	1,997	1,868	1,926

(3) その他

- ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて24時間緊急対応体制）
- イ 地域ケア会議の開催（9回）
- ウ 認知症サポーター養成講座（2回）
- エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（14か所）
- オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（12回）
- カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等
- キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）
- ク 包括だより発行
- ケ 真田地域包括独自事業の開催（男性の料理教室：8人参加、男性のいまさら聞けない暮らしのポイントスキルアップ講座：9人参加）

評価・課題

- (1) 高齢者に対する地域の総合相談窓口として、関係機関との連携を図りながら急を要する相談も含め迅速な対応に心がけた。相談内容では認知症や虐待等、権利擁護に関する相談のほか多重問題を抱えた家族の支援等、支援困難ケースに該当する相談が増えており 3 職種及びに行政や医療機関等、各関係機関との連携を心がけた。今後も関係機関と連携を図りながら対応していきたい。
- (2) 高齢者世帯・おひとり暮らし台帳に基づいた実態把握訪問の実施を心がけ、昨年よりも訪問件数を増やすことができた。支援を必要としている人の早期発見、地域住民のニーズ把握のため今後も努力したい。
- (3) 真田地域包括独自事業として「男性の料理教室」と「男性のいまさら聞けない暮らしのポイント スキルアップ講座」を開催した。独居世帯の増加や高齢者世帯における男性の介護者が増えている現状から今後も地域の高齢者の介護予防・自立支援に向けた支援を提供していきたい。
- (4) 生活支援体制整備事業においては、住民主体活動の情報収集とニーズの把握に努め、それらの情報の可視化（ポスター作成）を行い地域内外で活動する他団体と協力して発表と研修の場を設けた。その後、自治会単位での懇談会を開催し身近な情報と課題を共有することで顔の見える関係づくりに努めた。また、各団体や自治会との横のつながりづくりを行い、ニーズとサービス及び各種活動のマッチングを行った。今後も生活支援体制整備事業の推進を図っていきたい。

## 武石地域包括支援センター事業

【令和 5 年度決算額】 25,987 千円

事業実績

(単位：件)					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
<b>(1) 相談件数の推移</b>					
総合的な相談・支援	1,155	1,058	1,080	1,165	1,103
権利擁護	100	31	35	82	25
介護予防ケアマネジメント	2,206	1,845	2,017	1,793	1,320
包括的・継続的ケアマネジメント	234	309	279	316	452
<b>(2) 事業内容の推移</b>					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
夜間緊急相談	38	47	26	26	15
介護予防活動	72	46	39	70	77
会議・研修等	147	68	65	156	78
医療・関係機関との連携	124	64	22	80	135
介護支援専門員に対する支援	21	6	7	10	7
実態把握	67	76	60	99	172
介護予防プラン作成	14	10	11	6	7
介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援計画	1,869	1,869	1,934	1,832	1,805
<b>(3) その他</b>					
ア 総合相談業務（夜間、休日等は、携帯電話にて 24 時間緊急対応体制）					

- イ 地域ケア会議の開催（5回）
- ウ 認知症サポーター養成講座（3回）
- エ 地域リハビリテーション活動支援事業への参加及び活動支援（19か所）
- オ 地域サロン等での介護予防体操や講話（7回）
- カ 生活支援体制整備事業における第2層協議体、地域資源の把握等
- キ 福祉教育の推進（看護学生等の実習受入れ）
- ク 包括だより発行

**評価・課題**

- (1) 総合相談事業に関しては、各職員が研修会に参加することで、相談支援に必要な知識やスキルを磨き、適切な対応を行えるように努めた。困難事例については、市の担当課と連携を取り対応に当たることで、問題解決に向けた支援を行っていく必要がある。
- (2) 生活支援体制整備事業においては、「支え合いを広げる地域づくりシンポジウム」を開催したほか、地区懇談会を4自治会にて行うことで、地域の現状と今後の課題、地域の支え合いに向けた活動等について住民とともに考えることができた。令和6年度も、未開催の自治会で地域の支え合いに向けた懇談会を行っていききたい。
- (3) 介護予防事業においては、地域リハビリテーションの立ち上げのための支援を行うことで、地域住民の介護予防のための活動の場を増やした。また、地域のサロンからの依頼によりレクリエーションや体操の講師として地域に出向いて活動を行うことで介護予防活動を推進した。今後は、活動の少ない地域にも働きかけていく必要がある。

## 29 通所介護事業

### 【事業概要】

デイサービスセンターでは、介護支援が必要な方等が、できる限り在宅で自立した日常生活が送れるよう、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図れるお手伝いをしている。

また、その家族の身体的、精神的な負担を軽減できるようなサービスを提供している。

### 中央デイサービスセンター事業

**【令和年5度事業費】**      42,601千円

**事業実績**

(単位：人)					
<b>(1) 利用者推移</b>					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者	5,871	5,818	5,175	4,751	5,004
1日平均利用者	18.9	19.1	17.0	15.9	16.1
関わったボランティア	233	24	41	0	29
<b>(2) 主な行事及び参加者数</b>					
ア お花見(ドライブ)	10人参加				
イ 水仙・花桃・鯉のぼり見学	16人参加				
ウ 藤見学(塩田)	17人参加				
エ あやめ見学(小泉)	15人参加				
オ 坂城バラ園見学	18人参加				
カ 真田神社見学	14人参加				
キ 夏祭り	59人参加				

ク	敬老会	20人参加
ケ	運動会	74人参加
コ	紅葉見学	12人参加
サ	お買い物ツアー（アリオ）	22人参加
シ	お楽しみ会	50人参加
ス	節分豆まき	11人参加
セ	ひな祭り	18人参加
ソ	上田城梅見学	12人参加
タ	誕生日会	随時開催
評価・課題		
<p>利用者が安心して快適に過ごせるよう、職員一人ひとりが意識して、新たなレクリエーションを企画するなどの工夫をしながら業務に取り組んだ。</p> <p>また、個別機能訓練計画や通所介護計画の状況把握のため、利用者やその家族及び担当ケアマネージャーと連絡を取りながら、内容の検討や見直しを行った。</p> <p>コロナ禍で、ボランティアの受け入れが困難な状況もあったが、少人数ながら体操ボランティアの協力を得て、利用者楽しんでいただいた。</p> <p>課題としては、職員間で利用者への介助方法等に関する意識や情報の共有を図ってきたが、未だ不十分なところがある。今まで以上にミーティング、申し送りを徹底し、職員会で確認し合うなど、質の良いサービスに努めていきたい。</p>		

## 神川デイサービスセンター事業

【令和5年度事業費】 47,986 千円

事業実績					
(1) 利用者推移		(単位：人)			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者	4,899	4,232	4,480	5,164	5,817
1日平均利用者	15.8	13.6	14.4	16.6	16.8
関わったボランティア	80	5	47	20	164
(2) 主な行事及び参加者数					
ア	こいのぼり見学	29人参加			
イ	藤の花見学	18人参加			
ウ	夏祭り	13人参加			
エ	敬老会	17人参加			
オ	運動会	54人参加			
カ	忘年会	57人参加			
キ	誕生日会	随時開催			
評価・課題					
<p>利用者が快適で安心した気持ちで過ごせるように、職員が常に笑顔を意識し業務に取り組んできた。</p> <p>介護支援専門員の作成する居宅サービス計画書に基づき利用者ニーズを把握し、個別機能訓練を充実させ、分かりやすい体操などを工夫しながら、自然に体が動かせるよう促した。</p> <p>コロナ禍も沈静化し、外出行事の制限解除やボランティアの受け入れも行い、利用者楽しんでいただいた。</p> <p>引き続き感染予防を行いながら利用者に安心して利用していただけるように職員全員で心が</p>					

け、併せて専門的な知識を深めるための研修等を実施し、スキルアップを図っていく。  
事故なく送迎できるように時間にゆとりを持ち、安全運転を徹底する。

### 30 居宅介護支援事業

#### 【事業概要】

介護保険に関わる各種申請の代行や、介護サービスを利用する際に相談窓口となる事業所である。利用される方や御家族が居宅において、安全・安心に生活ができるよう居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、適切なサービスが受けられるように、提供事業者と連絡・調整している。

#### 介護相談センター事業

【令和5年度事業費】 20,248千円

事業実績					
事業実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	1,929	1,892	1,965.5	1,470.5	1,121
ケアプラン作成(件)	1,825	1,662	1,818.5	1,356	1,051
介護予防支援(件)	4	4	37	74	68
認定調査(件)	41	33	31	14	9

評価・課題	
<p>十分な職員体制が取れなかったこともあって、大幅減収となった。利用者の状況については、毎朝の定例ミーティングや随時の検討などにより、所内での情報共有は十分に図ることができた。利用者アンケートでも、おおむね良い評価となり、職員の連携や対応がスムーズであったことによる成果と考える。</p> <p>BCP(業務継続計画)については、令和5年度中に予定どおり策定完了し、2月には、3相談センター合同での研修も行うことができた。令和6年度は、更に机上訓練を行い、必要に応じて内容の見直しを行う予定である。</p>	

#### 神川介護相談センター事業

【令和5年度事業費】 16,719千円

事業実績					
事業実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	1,313	1,228	1,110	1,235	1,237
ケアプラン作成(件)	1,517	1,114	1,046	1,175	1,160
介護予防支援(件)	8	30	44	47	47
認定調査(件)	20	13	15	10	0

評価・課題	
<p>要介護度1、2の利用者の件数が約7割以上を占め、引き続き軽度の方の利用が多い状況である。介護予防の件数については月平均3.9件で、令和4年度と同程度であった。</p>	

認知症の診断を受けている利用者が、症状の進行に伴い、在宅困難となって有料老人ホームや介護老人保健施設等への入所に移行していくケースのほか、骨折で入院し、そのまま施設入所となるケースも目立った。利用者の状態に応じ、適する施設への入所の対応ができた。

普段から医療との連携を密に取っている成果として、病院からの紹介を受けて、当該病院と連携し、在宅生活へ向けて調整が図られたケースも多くあった。

BCP（業務継続計画）については策定が完了し、今後は研修や机上訓練等の実施に取り組み、新たな課題や改善すべき点が見つかった場合は随時、見直しを行っていく。

職員のスキルアップを目指し、オンラインでの研修等にも積極的に参加し、研鑽に努めた。今後も積極的に研修について情報収集し、参加・実施の機会を得ていく。

## 丸子介護相談センター事業

【令和5年度事業費】 14,504千円

事業実績					
事業実績	(単位：件)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	1,184	1,218	1,260.5	1,313	1,033.5
ケアプラン作成（件）	1,169	1,169.5	1,176	1,135	967.5
介護予防支援（件）	8	26	32	44	49
認定調査（件）	11	9	12	12	6

評価・課題	
10月から職員減があり、令和4年度より利用者が減少した。	
利用者の状況については、毎朝の所内ミーティングで情報共有を図るほか、週1回の丸子地域包括支援センターとの事例検討会議を実施し、緊急時の連携もスムーズに対応できた。	
利用者の確保に向けて、社協内の連携を強化するとともに、事業者や関係機関から情報収集するなど、積極的な活動を行っていく。	

## 3.1 児童館・児童センター事業(指定管理事業)

【令和5年度事業費】 62,461千円

### 【事業概要】

地域の児童に健全な遊びの場を提供し、健康で心身豊かな児童の育成を図ることを目的としている。地域の交流の拠点として地域、ボランティア等の方々に支えられ運営を行っている。

各館では、充実した遊びや運動が楽しめるよう、年間を通してさまざまな取組をしている。

また、保護者が就労等で留守家庭となる場合は、小学校から直接来館して利用ができる。

事業実績	
(1) 地区懇談会	8 児童館・児童センター（下丸子児童館を除く。） 延べ103人
(2) 職員研修	
ア ファミリー・サポート・センター講習会	3回 20人

イ 救急法講習会 18人  
 ウ さまざまな特性を持つ子の児童館での対応について 2回 延べ10人

(3) 利用者アンケート

令和5年12月から令和6年1月の期間に、児童館・児童センターを利用している方へアンケートを実施した。

(4) その他

年間を通して、工作や手芸、ドッチボールや一輪車などの体育的活動を実施した。  
 また、児童館だよりを発行し小学校に配布した。

別表

(1) 各児童館・児童センター

ア 朝日が丘児童館利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	11,777	6,892	7,069	5,817	6,735
開館(日)	284	287	287	283	287
1日平均利用者(人)	41.5	24.0	24.6	20.6	23.5

イ 緑が丘児童館利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	9,995	4,957	4,228	2,755	3,204
開館(日)	284	287	282	286	287
1日平均利用者(人)	35.2	17.3	15.0	9.6	11.2

ウ 川辺町児童センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	25,874	18,112	19,218	19,123	21,630
開館(日)	284	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	91.1	63.1	67.0	66.6	75.4

エ 秋和児童センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	3,971	3,940	3,496	1,241	1,633
開館(日)	284	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	14.0	13.7	12.2	4.3	5.7

オ 東塩田児童センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	16,842	9,714	7,249	5,771	8,362
開館(日)	284	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	59.3	33.8	25.3	20.1	29.1

カ 大星児童センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者(人)	24,624	14,209	17,697	19,280	21,344
開館(日)	284	287	287	287	287
1日平均利用者(人)	86.7	49.5	61.7	67.2	74.4

キ 神科児童センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	32,361	17,599	24,261	20,498	21,740
開館（日）	284	287	287	287	287
1日平均利用者（人）	113.9	61.3	84.5	71.4	75.7

ク 神川児童センター利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	13,186	9,258	8,522	10,718	11,844
開館（日）	284	287	287	282	287
1日平均利用者（人）	46.4	32.3	29.7	38.0	41.3

ケ 下丸子児童館利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	809	188	651	171	256
開館（日）	225	201	169	85	237
1日平均利用者（人）	3.6	0.9	3.9	2.0	1.1

(2) 児童館・児童センター（9館）利用状況推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者（人）	139,439	84,869	92,391	85,374	96,748
開館（日）	2,497	2,497	2,460	2,371	2,533
1日平均利用者（人）	55.8	34.0	37.6	36.0	38.2

評価・課題

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行事開催やボランティアの受入れも可能になり、児童の活動の幅も広がっていった。

特性がある児童への個別対応が求められ、小学校とのタイムリーな連携が必要となっている。外部研修や事例検討会等を行いながら、職員も学びを深めてきた。該当する児童だけでなく、まわりの児童の学びにもつながるよう支援を進めていきたい。

地域ごとに利用人数の差があるので、職員の配置や、利用の促進方法が課題となっている。今後も職員の資質を向上させ、児童や保護者の安全・安心につなげ、信頼できる児童館・児童センターとなるよう努める。

## 32 その他の事業

### 団体事務局

(1) 上田地区センター

ア 上田市高齢者クラブ連合会

上田市高齢者クラブ連合会は4地域（上田、丸子、真田、武石）の活動の交流や長野県シニアクラブ連合会の事業への参加等を行っている。

(ア) 高齢者クラブ数 77 単位クラブ 会員 3,505 人

(イ) 長野県シニアクラブ連合会等主催行事への参加

・東信地区 ブロック研修会

21 人参加



- ・東信地区 女性指導者研修会 19 人参加
- ・マレットゴルフ大会 やまゆり公園マレットゴルフ場 8 人参加
- ・第 63 回長野県シニアクラブ大会 25 人参加
- (ウ) 大会、講習会等の合同開催について
  - ・第 16 回マレットゴルフ大会 97 人参加
- (エ) 役員会の開催
  - ・会計監査
  - ・理事会
  - ・上田市長・上田市社会福祉協議会長へ表敬訪問
  - ・正副会長・事務局会議
  - 議事 事業報告、事業計画、新役員について、会則の変更について
- イ 上田地域福寿クラブ連合会
 

上田地域福寿クラブ連合会の活動は、健康長寿、フレイル予防、引きこもり防止のため各種シルバースポーツの推進、生きがいと健康づくりの推進の維持、継続を行う。

  - (ア) 高齢者クラブ数 35 単位クラブ 会員 1,827 人
  - (イ) 正副会長関係
    - ・令和 4 年度会計監査
    - ・総務教養・女性部会議
    - ・社会福祉部会議
    - ・保健部会議
    - ・理事会・代議員会
    - ・表彰審査委員会 (福寿クラブ会長表彰)
    - ・第 39 回福寿クラブ連合会定期大会
    - ・県シニア連 東信地区ブロック研修会 21 人参加
    - ・福寿クラブ指導者 (単位クラブ会長) 研修会
    - ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 19 人参加
    - ・人権を考える市民のつどい 10 人参加
    - ・第 63 回長野県シニアクラブ大会 25 人参加
    - ・他県老連交流会 中止
    - ・人権啓発担当者研修会 9 人参加
    - ・正副会長会
    - ・理事会
    - ・通年事業：金婚祝賀事業 (昭和 47 年結婚夫婦) 19 組
    - お茶のみサロン設置事業 17 クラブ
    - 新規加入会員募集 64 人加入
  - (ウ) 総務教養部関係
    - ・総務教養部会
    - ・第 39 回福寿クラブ連合会定期大会

- ・福寿だより編集委員会
  - ・第 88 号「うえだ福寿だより」発行
  - ・人権を考える市民のつどい 10 人参加
  - ・第 63 回長野県シニアクラブ大会 25 人参加
  - ・他県老連交流会 中止
  - ・人権啓発担当者研修会 9 人参加
  - ・福寿だより編集委員会
  - ・第 89 号「うえだ福寿だより」
- (エ) 保健部関係
- ・保健部会
  - ・第 7 回福寿連グラウンド・ゴルフ大会 59 人参加
  - ・第 31 回スマイルボウリング大会 151 人参加
  - ・第 41 回ファミリーゲートボール大会 2 チーム参加
  - ・第 31 回福寿連ゲートボール大会 6 チーム参加
  - ・県シニア連 マレットゴルフ大会 8 人参加
  - ・男性料理教室事前打合せ
  - ・第 26 回福寿連マレットゴルフ大会 77 人参加
  - ・第 16 回市高齢者クラブマレットゴルフ大会 97 人参加
  - ・男性料理教室 140 人参加
  - ・シルバースポーツ教室 143 人参加
  - ・ファミリースマイルボウリング大会 102 人参加
  - ・通年事業：パソコン教室 前期 4 月開講 34 人受講  
後期 10 月開講 32 人受講
- (オ) 社会福祉部関係
- ・社会福祉部会 4 月 5 日 (水)
  - ・寝たきり老人調査依頼 6 月下旬
  - ・前期ふれあい献金事業開始 9 月～
  - ・寝たきり会員訪問活動 (紙おむつ配布) 9 月 4 日 (月)、5 日 (火)  
各支部指定場所 36 人
  - ・後期ふれあい献金事業開始 令和 6 年 2 月～ 献金額 245,610 円
- (カ) 女性部関係
- ・女性部会
  - ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 19 人参加
  - ・男性料理教室事前打合せ
  - ・赤い羽根共同募金運動参加 6 人参加
  - ・男性料理教室 140 人参加
- (キ) 女性部 理事関係
- ・理事会
  - ・第 39 回福寿クラブ連合会定期大会

- ・県シニア連 東信地区女性指導者研修会 19人参加
- ・第63回長野県シニアクラブ大会 25人参加
- ・他県老連交流会 中止
- ・理事会

ウ 上田市遺族会

- (ア) 役員総会 4月22日(金)
- (イ) 全国戦没者追悼式 8月15日(月)
- (ウ) 外部研修(長野県護国神社参拝、満蒙開拓記念館視察) 9月20日(火)、21日(水)
- (エ) 第70回長野県戦没者遺族大会 10月14日(金)
- (オ) 令和5年度長野県戦没者追悼式 10月15日(土)
- (カ) 令和5年度上田市戦没者追悼式 11月30日(水)
- (キ) 第65回上田市戦没者遺族大会 11月30日(水)

(2) 丸子地区センター

ア 丸子地域シニアクラブ事務局

- (ア) 高齢者クラブ数 28 単位クラブ 983人
- (イ) 会議、行事等
  - ・理事会、総会等 5回 77人参加
  - ・いきいきフェスティバル(シルバー作品展) 出店作品数 204点
  - ・女性部研修会 30人参加
  - ・役員研修 17人参加
  - ・冬季スポーツ交流会 4回 137人参加
  - ・県シニアクラブ連合会東信地区ブロック研修 2回 7人参加
  - ・県シニアクラブ連合会長野県大会 4人参加
  - ・上田市高齢者クラブ連合会理事会・正副会長会 3回 12人参加
  - ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10人参加

イ 上田市丸子地区赤十字奉仕団

- (ア) 救急法講習会 2回 28人参加
- (イ) 上田市防災訓練(武石地区) 1人参加
- (ウ) 上田市出前講座防災対策学習会 21人参加
- (エ) 上田市消費生活展 4人参加
- (オ) まるこ福祉会防災訓練 8人参加

ウ 上田市更生保護女性会丸子支部

- (ア) 社会を明るくする運動上田大会 4人参加
- (イ) 役員研修 3人参加
- (ウ) 上田市消費生活展 4人参加
- (エ) 会員視察研修(有明高原寮) 18人参加
- (オ) 食事提供ボランティア(裾花寮) 2回 8人参加
- (カ) 更生保護活動に関する学習会 31人参加

(3) 真田地区センター

ア 真田地域シニアクラブ

- (ア) 高齢者クラブ数5 単位クラブ会員 190人
- (イ) 会議、行事等

- ・第 65 回全体会(正副会長・役員 7 人)
- ・県シニアクラブ東信地区ブロック研修会(正副会長)
- ・真田地域シニアクラブ杯マレットゴルフ大会(28 人)
- ・真田地域マレットゴルフ大会(27 人)
- ・県シニアクラブ女性指導者研修会(会長)
- ・金婚祝いお届け(2 単位クラブ 4 組)
- ・体育祭・健康を考えるつどい(88 人)
- ・さわやかゲートボール大会
- ・県シニアクラブ連合会大会(須坂市)(正副会長)
- ・役員会(5 人)
- ・伝承広場 4 地区で開催：菅平地区・長地区・傍陽地区・本原地区

(4) 武石地区センター

ア 武石シニアクラブ

(ア) 地区高齢者クラブ 9 単位クラブ 会員 440 人

(イ) 会議・行事

- ・評議員会(総会) 2 回
- ・上田市高齢者クラブ連合会理事会
- ・ともしび洗濯物たたみ奉仕活動 14 回 延べ 27 人参加
- ・マレットゴルフ大会 2 回 56 人参加
- ・県シニアクラブ連合会東信ブロック研修会 4 人参加
- ・県シニアクラブ連合会女性指導者研修会 4 人参加
- ・ニュースポーツ大会 1 回 23 人参加
- ・県シニアマレットゴルフ大会 2 人参加
- ・上田市高齢者クラブ連合会マレットゴルフ大会 10 人参加
- ・第 63 回長野県シニアクラブ大会 4 人参加
- ・役員研修旅行 10 人参加
- ・上田市高齢者クラブ連合会正副会長会 会長参加

イ 武石もみじ会

- (ア) 親睦会、会食会 11 人参加
- (イ) 秋の研修会(山梨県) 8 人参加
- (ウ) 総会 7 人参加

ウ 武石身体障害者福祉協会

- (ア) 第 49 回上小地区障がい者スポーツ大会 雨天中止
- (イ) 第 23 回長野県障がい者スポーツ大会 欠席
- (ウ) 郡・市(町・村)身体障がい者福祉協会会長会議 欠席
- (エ) 第 18 回人権を考える市民のつどい 欠席
- (カ) 人権啓発担当者研修会 欠席
- (キ) 視察研修(山梨県) 1 人参加
- (ク) 総会 6 人参加

エ 武石遺族会

- (ア) 役員会
- (イ) 武石地区靖国霊社祭 11 人参加

## 実行委員会事務局

### (1) 上田地区センター

#### ア うえだ市民ふれあい広場

住民が互いに助け合う共生の意識を高め、福祉施設やボランティア団体、NPO 法人に対する理解を深めるとともに、ふれあいを図ることを目指している。

#### (ア) うえだ市民ふれあい広場実行委員会

令和5年度は、コロナ禍のため、うえだ市民ふれあい広場が中止となり、実行委員会は開催しなかったが、今後のあり方について、前実行委員が集まり検討会議を行った。

### (2) 丸子地区センター

#### ア いきいきフェスティバル

高齢者の長寿を祝うとともに、だれもが、身近な地域において支え合い、自分らしくともに生きる社会の実現に向け皆で考え、理解を深めることを目的としている。

#### (ア) いきいきフェスティバル実行委員会3回 延べ30人参加

(イ) いきいきフェスティバル 2023 520人参加

(ウ) 慶祝集合記念写真(米寿、白寿、100歳以上、金婚式) 26人参加

### (3) 真田地区センター

#### ア ふれあい広場 in さなだ

真田地域を中心に活動しているボランティアや関係団体、福祉施設等が一堂に会し、思いやりのある地域づくりを目指して、住民が交流を深められる場として開催している。

#### (ア) ふれあい広場 in さなだ実行委員会 4回 延べ64人参加

(イ) 第35回ふれあい広場 in さなだ開催(実行委員延べ105人)